3-815-909-**02** (1)

Network Camera

設置説明書 JP

Installation Manual GB

Manuel d’installation FR

Manual de instalación ES

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠注意 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この設置説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

*Exwave*HAD™

SNC-CS3N/CS3P

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

４～５ページの注意事項をよくお読みください。製品全般および設置の注意事項が記されています。

定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したときは**

❶ 電源コードおよび接続ケーブルを抜く。
❷ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

指示

目次

概要

基本的な設置と接続

その他

JP

⚠注意　下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの業務製品ご相談窓口にご依頼ください。

指定された電源ケーブルを使う

指示

設置説明書に記されている電源ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

直射日光に当たる場所、熱器具の近くには置かない

禁止

変形したり、故障したりするだけでなく、レンズの特性により火災の原因となることがあります。特に、窓際に置くときなどはご注意ください。

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれ禁止

水ぬれすると、漏電による感電、発火の原因となることがあります。

指定された電源電圧で使用する

指示

指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

指示

強度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。

機器や部品の取り付けは正しく行う

指示

機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落下して、けがの原因となることがあります。
設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると、火災の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている電源供給機器の電源コードやDC電源ケーブル、本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

禁止

上記のような場所やこの設置説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

設置は専門の工事業者に依頼する

指示

設置については、必ずお買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。
壁面や天井などへの設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。
また、1 年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。
また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

不安定な場所に設置しない

禁止

次のような場所に設置すると、倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上
- 傾いたところ
- 振動や衝撃のかかるところ

また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

別売りアクセサリーのレンズは確実に取り付ける

指示

レンズはレンズのねじをしっかり締めて取り付けてください。
取り付けかたがゆるいと、レンズがはずれて、けがの原因となることがあります。
また、1 年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。
また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

- 本ネットワークカメラで提供するシステムおよびサービスはセキュリティーサービスではなく、また確実な安全を保障するものではありません。
- ネットワークカメラをご使用されることにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることが可能です。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧、使用等される可能性があります。ネットワークのご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- ネットワークカメラへのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上のカメラによる認証作業は行われません。
- 諸事情による本ネットワークカメラに関連するサービスの停止、中断について、ソニーは一切の責任を負いません。

特長

ネットワークを介した高画質モニタリング

ネットワーク (10BASE-T/100BASE-TX) を介してコンピューターから Web ブラウザを使って、カメラの高画質ライブ画像を最大毎秒 30 フレームでモニタリングできます。1 台のカメラ画像を 50 人までのユーザーが同時に見ることができます。

対応ブラウザ

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 または 6.0
(対応 OS：Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP)

高感度・高画質

1/3 型 Exwave HAD™ CCD を採用した高感度・高画質のビデオカメラです。

カメラの内部メモリーへの画像記録

外部センサー入力、内蔵の動体検知機能およびマニュアルトリガーボタンと連動して、その時点またはその前後の連続静止画を、カメラ内部メモリー（約８MB）へ記録することができます。また、静止画像を定期的に記録することもできます。

E メールや、FTP サーバーを使った画像配信

外部センサー入力、内蔵の動体検知機能およびマニュアルトリガーボタンと連動して、その時点のカメラの静止画像を E メールに添付して送ったり、その時点またはその前後の連続静止画を FTP サーバーに送信できます。また、静止画像を定期的に送信することもできます。
さらに、コンピューターの FTP クライアントソフトウェアを使うと、カメラ内部のメモリー内の静止画像を検索、受信することができます。

アラーム出力機能

2 系統のアラーム出力を装備しており、外部センサー入力や内蔵の動体検知機能、マニュアルトリガーボタン、または時刻と連動して周辺デバイスをコントロールできます。

トランスペアレンシータイプ RS-232C インターフェース装備

RS-232C インターフェースを介して周辺機器と接続することにより、コンピューターからネットワーク経由で周辺機器のコントロールおよびデータ受信ができます。

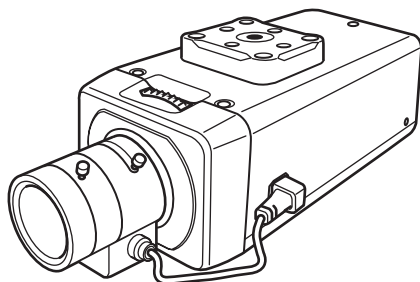
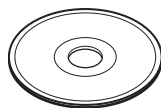
アナログビデオ出力

VTR や TV モニターを接続して、ローカルでの映像記録やモニタリングが可能です。

- Microsoft、Windows、Internet Explorer および MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Exwave HAD™ は Exwave Hole-Accumulated Diode の略です。Exwave HAD™ は、ソニー株式会社の商標です。
- CCD は Charge-Coupled Device の略です。

付属品

梱包を開けたら、以下の付属品が一式そろっているか確認してください。

カメラ本体 （1）

CD-ROM（セットアッププログラム、ユーザーガイド） （1）

ワイヤーロープ （1）

段付きビス M4 （1）

保証書（冊子） (1)
保証シート (1)
設置説明書（本書） (1)

付属の説明書について

説明書の種類

本機には、以下の説明書が付属されています。

設置説明書（本書）

この設置説明書には、カメラ本体の各部の名称や設置、接続のしかたが記載されています。操作の前に必ずお読みください。

ユーザーガイド（CD-ROM に収録）

カメラのセットアップの方法や、Webブラウザを介したコントロールの方法が記載されています。
ユーザーガイドの開きかたは、下記の「CD-ROM マニュアルの使いかた」をご覧ください。

CD-ROM マニュアルの使いかた

付属の CD-ROM には、本機のユーザーガイド（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語）が収録されています。

CD-ROM の動作環境

付属の CD-ROM を動作させるには、次の環境が必要です。

- コンピューター：Intel Pentium プロセッサー搭載のコンピューター
  搭載メモリー：64MB 以上
  CD-ROM ドライブ：8 倍速以上
- ディスプレイモニター：解像度 800 × 600 ドット以上
- OS: Microsoft Windows Millennium Edition, Windows 2000 Service Pack 2, Windows XP Professional または Home Edition

上記の条件を満たさない環境では、CD-ROM の動作が遅くなったり、まったく動作しないことがあります。

準備

付属の CD-ROM に収録されているユーザーガイドを使用するためには、以下のソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。

- Adobe Acrobat Reader 4.0 以上、または Adobe Reader 6.0 以上

ソフトウェアがインストールされていない場合は、次の URL からダウンロードできます。

- Adobe Reader：
  http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2 .html

マニュアルを読むには

CD-ROM に入っているユーザーガイドを読むには、次のようにします。

1. CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
2. Manual フォルダーをダブルクリックする。
3. 読みたいマニュアルを選択してクリックする。

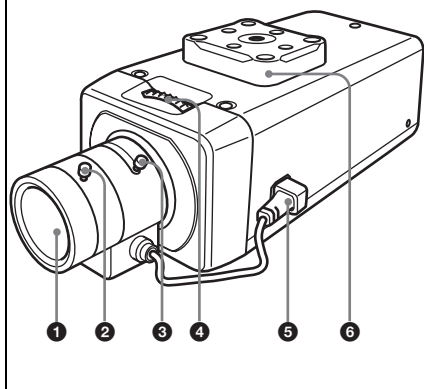
ユーザーガイドの PDF ファイルが開きます。

ご注意

ハードウェアの故障または CD-ROM の誤使用により、CD-ROM 内の情報が読めなくなったり消失したりした場合は、ソニーのサービス担当者にご依頼ください（有料）。

- Intel および Pentium は、アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションの登録商標です。
- Adobe、Acrobat および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

各部の名称と働き

前面

❶ レンズ

バリフォーカルレンズを標準装備しています。

❷ フォーカスリング

N 側へ回すと近いところに、∞側へ回すと遠いところにフォーカスが合います。

❸ ズームリング

T 側へ回すと望遠、W 側へ回すと広角になります。

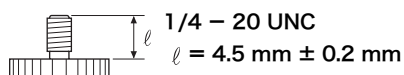
❹ フランジバック調整リング

フランジバック（レンズの取り付け面から結像面までの距離）を調整するリングです。

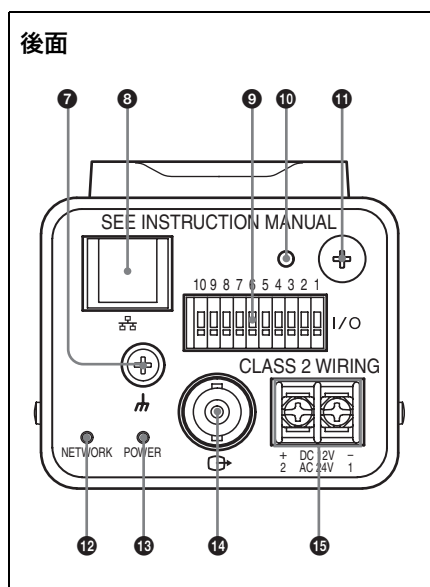
❺ オートアイリスレンズ端子

オートアイリスレンズ（DC 制御タイプ）のケーブルを接続すると、レンズに電源や制御信号を供給します。

❻ トライポッドアダプター

カメラ三脚などにカメラを固定するときに使用します。 着脱可能のため、本体の上面、底面のどちらにも取り付けられます。
三脚ネジは次のものを使用してください。

ご注意

4.5 mm ± 0.2 mm 以外のネジを使用すると、取り付けが不完全になったり、本機の内部を損傷して故障の原因となることがあります。

後面

❼ ⏚（アース）端子

AC 24V 用の筐体アースです。

ご注意

AC 24V または DC 12V で電源供給する場合、本機の最大消費電力は 8 W になります。電源許容量をご確認の上、接続してください。

❽ 品（ネットワーク）ポート

ネットワークケーブル（UTP、カテゴリー5）を使用し、ネットワーク（10BASE-T/100BASE-TX）のハブまたはコンピューターと接続します。

❾ I/O（入出力）ポート

RS-232C ポート、1 系統のセンサー入力、2 系統のアラーム出力を備えています。
RS-232C ポートは、RS-232C インターフェースを介して周辺機器と接続し、コンピューターからネットワーク経由で周辺機器のコントロールやデータ受信をするときに使用します。
センサー入力は、アラーム入力として使用します。また、E メールなどのアプリケーションに連動させる場合に使用します。
アラーム出力は、外部センサー入力や内蔵の動体検知機能、マニュアルトリガーボタン、または時刻と連動して周辺機器をコントロールするときに使用します。

◆各機能や設定について詳しくは、 付属の CD-ROM に収録されているユーザーガイドをご覧ください。

◆ピン配列と配線については、「I/O ポートのピン配列と使いかた」(25 ページ) をご覧ください。

❿ リセットスイッチ

このスイッチを押しながら電源を供給すると、工場出荷時の設定に戻ります。

⓫ ワイヤーロープ取り付けネジ穴

本機を壁や天井に設置するとき、付属のワイヤーロープを、付属の段付きビスを使って固定します。

⓬ NETWORK（ネットワーク）インジケーター（オレンジ / 緑）

ネットワークが 10BASE-T で接続されているときはオレンジ色で点滅します。
100BASE-TX で接続されているときは緑色で点滅します。
ネットワークが接続されていないときは消えています。

⓭ POWER (パワー) インジケーター（緑）

カメラに電源が供給されると、カメラ内部でシステムチェックを行います。
正常の場合はこのインジケーターが点灯します。
内部でシステムエラーが発生している場合は 1 秒ごとに点滅します。
この場合は、お買い上げ店、またはお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

⓮ ⇨（映像出力）端子（BNC 型）

本機からの映像をコンポジット信号として出力します。
コンポジットビデオ入力端子を持つビデオモニター、VTR などと接続します。

⓯ DC 12V/AC 24V（電源入力）端子

DC 12V または AC 24V の電源供給装置へ接続します。

概要

必要なシステム構成

プロセッサー

Pentium III 500 MHz 以上
(Pentium 4、1 GHz 以上を推奨)

RAM

128 MB 以上

OS

Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP

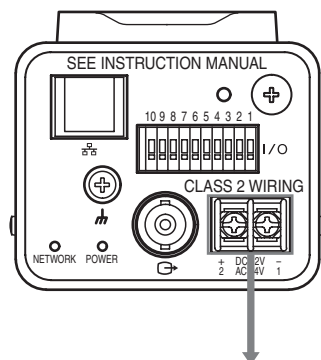
Web ブラウザ

Internet Explorer Ver. 5.5 または Ver. 6.0

電源を接続する

本機は、次のどちらかの方法で電源を接続できます。

- DC 12V
- AC 24V

DC 12V または AC 24V は、後面の電源入力端子へ接続します。

電源について

DC 12V または AC 24V は、AC 100V に対して絶縁された電源を使用してください。
それぞれの電源の使用電圧範囲は次のとおりです。
DC 12V：10.8V ～ 13.2V
AC 24V：21.6V ～ 26.4V

DC 12V または AC 24V の配線には、UL ケーブル（VW-1 style 1007）を使用してください。
また、AC 24V 電源を使用する場合は、⏚（アース）端子に接地配線してください。

電源とカメラの推奨ケーブル

DC 12V の場合

ケーブル (AWG)	#24 (0.22 mm)	#22 (0.33 mm)	#20 (0.52 mm)	#18 (0.83 mm)
最大ケーブル長(m)	12	18	30	50

AC 24V の場合

ケーブル (AWG)	#24 (0.22 mm)	#22 (0.33 mm)	#20 (0.52 mm)	#18 (0.83 mm)
最大ケーブル長(m)	35	60	100	150

カメラに IP アドレスを割り当てる

ネットワークを介してカメラに接続するためには、カメラに新しい IP アドレスを割り当てる必要があります。
IP アドレスを割り当てるときは、カメラをコンピューターまたはネットワークへ接続してください。コンピューターへの接続には市販のネットワークケーブル（クロスケーブル）をご用意ください。ネットワークへ接続するときは、市販のネットワークケーブル（ストレートケーブル）をご用意ください。
IP アドレスの割り当ては、次の 2 とおりの方法で行うことができます。

・付属の CD-ROM に収録されているセットアッププログラムを使う

◆操作方法は、「セットアッププログラムを使って IP アドレスを割り当てる」(15 ページ) をご覧ください。

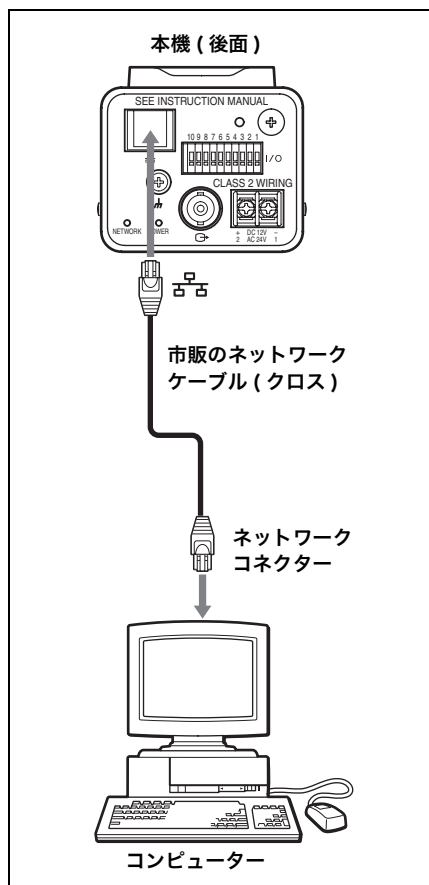
・ARP（Address Resolution Protocol）コマンドを使う

コンピューターで DOS ウィンドウを開き、指定の ARP コマンドを入力します。

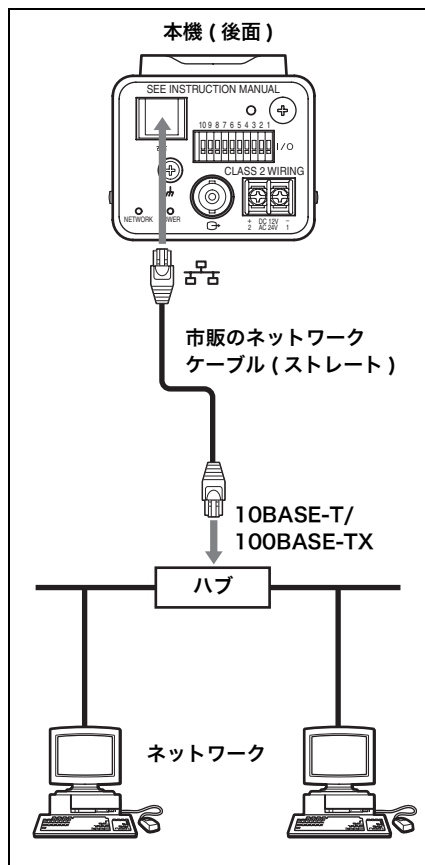
◆詳しい操作方法は、付属の CD-ROM に収録されているユーザーガイドの「ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる」をご覧ください。

ご注意

カメラに割り当てる IP アドレスは、必ずシステム管理者と相談の上、決定してください。

カメラとコンピューターを接続する

1 市販のネットワークケーブル（クロスケーブル）を使って、本機の 品（ネットワーク）ポートとコンピューターのネットワークコネクターを接続する。

2 電源を接続する。（12 ページ）

カメラをネットワークへ接続する

1 市販のネットワークケーブル（ストレートケーブル）を使って、本機の 品（ネットワーク）ポートとネットワークのハブを接続する。

2 電源を接続する。（12 ページ）

セットアッププログラムを使って IP アドレスを割り当てる

1 付属の CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れる。

2 CD-ROM ドライブ内の Setup フォルダをダブルクリックして開く。

3 Setup.exe をダブルクリックする。

4 画面に表示されるウィザードに従って「IP Setup Program」をインストールする。

使用許諾に関する文面が表示されたら、よくお読みいただき、承諾の上、インストールを行ってください。

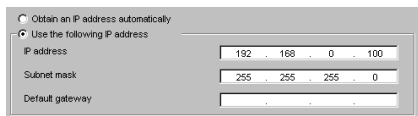
5 IP Setup Program を起動する。

Network タブが表示され、IP Setup Program がローカルネットワーク上に接続されている SNC-CS3 カメラを検出してリスト表示します。

6 リストからIPアドレスを割り当てたいカメラをクリックして選択する。

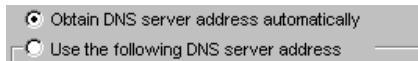
MAC address	IP address	Model	Serial No.	Version No.
08-00-46-7a-d6-39	192.168.0.100	SNC-CS3N	310277	1.04

選択されたカメラのネットワーク設定状況が画面に表示されます。

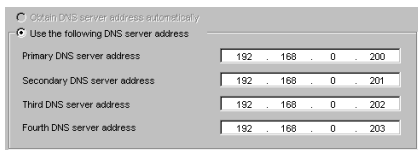
7 IP アドレスを設定する。

IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するときは

[Obtain an IP address automatically] を選択します。

Obtain an IP address automatically
Use the following IP address

IP address (IP アドレス)、Subnet mask (サブネットマスク)、Default gateway (デフォルトゲー

トウェイ）が自動的に割り当てられます。

固定 IP アドレスを設定するときは

[Use the following IP address] を選択し、[IP address]、[Subnet mask]、[Default gateway] 欄にそれぞれの値を入力します。

8 DNS サーバーアドレスを設定する。

DNS サーバーアドレスを自動取得するには

[Obtain DNS server address automatically] を選択します。

Obtain DNS server address automatically
Use the following DNS server address

DNS サーバーアドレスを自動取得しないときは

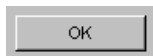
[Use the following DNS server address] を選択してから、[Primary DNS server address] と [Secondary DNS server address] に DNS サーバーアドレスを入力します。

ご注意

本機では [Third DNS server address]、[Fourth DNS server address] は入力しても無効です。

9 HTTP ポート番号を設定する。

通常は、HTTP port No. の［80］を選択します。［80］以外のポート番号に設定するときは、テキストボックスを選択し、ポート番号 1024 〜 65535 を入力します。

10 [Administrator name] と [Administrator password] に管理者の名前とパスワードを入力する。

工場出荷時は、両方とも「admin」に設定されています。

ご注意

ここでは、管理者の名前とパスワードの変更はできません。
変更のしかたは、付属の CD-ROM に入っているユーザーガイドの「ユーザー設定をする－ User 設定ページ」をご覧ください。

11 正しく設定されていることを確認してから [OK] ボタンをクリックする。

「Setting OK」が表示されれば、IP アドレスの設定は終了です。

Web ブラウザでモニタリングする

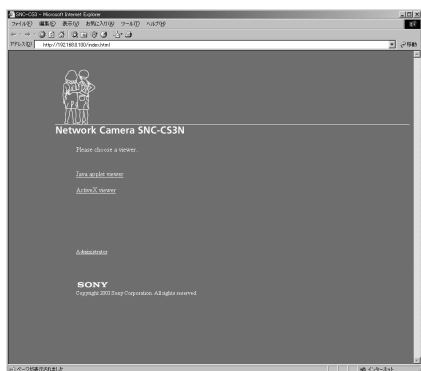
IP アドレスを割り当てたら、実際に Web ブラウザからカメラにアクセスできることを確認します。
Web ブラウザは、Internet Explorer をお使いください。

◆Web ブラウザを使った操作について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている「ユーザーガイド」をご覧ください。

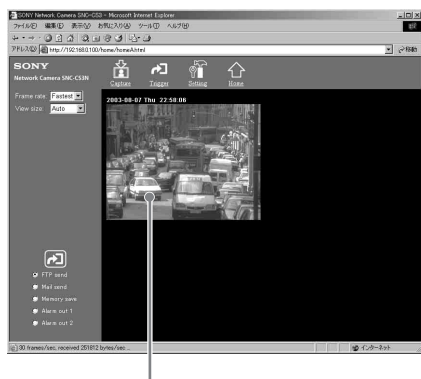
1 コンピューターで Web ブラウザを起動し、カメラの IP アドレスをアドレス欄に入力する。

例：

アドレス(D) http://192.168.0.100

「Network Camera SNC-CS3N」のウェルカムページが表示されます。

2 ActiveX viewer をクリックする。

メインビューアーページが表示され、カメラのモニター画像が画面に表示されます。

初めて本機の画像を表示するときは「セキュリティ警告」が表示されます。「はい」をクリックして ActiveX Control をインストールしてください。

モニター画像

これで、IP アドレスの割り当ては完了です。カメラの設置に進んでください。

ご注意

ウェルカムページを正しく動作させるためには、以下の手順で Internet Explorer のセキュリティレベルを［中］以下に設定してください。

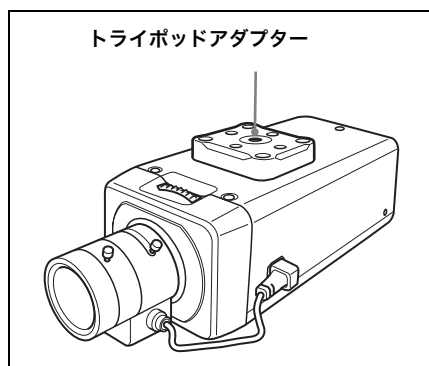
1 Internet Explorer のメニューバーから［ツール］―［インターネットオプション］―［セキュリティ］タブの順に選択する。
2 ［インターネット］アイコン（本機をインターネット環境で使用しているとき）、または［イントラネット］アイコン（本機をイントラネット環境で使用しているとき）をクリックする。
3 レベルバーを操作して［中］以下にする。（レベルバーが表示されていない場合は、［既定］ボタンをクリックしてからレベルバーを操作してください。）

ご注意

- Windows NT4.0, Windows 2000, Windows XP をお使いの場合は、ActiveX viewer のインストール時は「管理者権限」でコンピューターにログインしておく必要があります。
- Windows NT4.0 または Windows 98 をお使いで、画像を表示できない場合は、付属の CD-ROM に収録されている、MFC42DLL Version Up Tool をインストールしてください。
- Internet Explorer のローカルエリアネットワーク（LAN）の設定を自動設定にすると、画像が表示されない場合があります。この場合は自動設定を使用不可にして手動でプロキシサーバーを設定してください。プロキシサーバーの設定については、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ご使用になるコンピューターでウィルス対策ソフトウェアをお使いの場合には、ページが正しく表示されない場合があります。

カメラを設置する

カメラを設置する

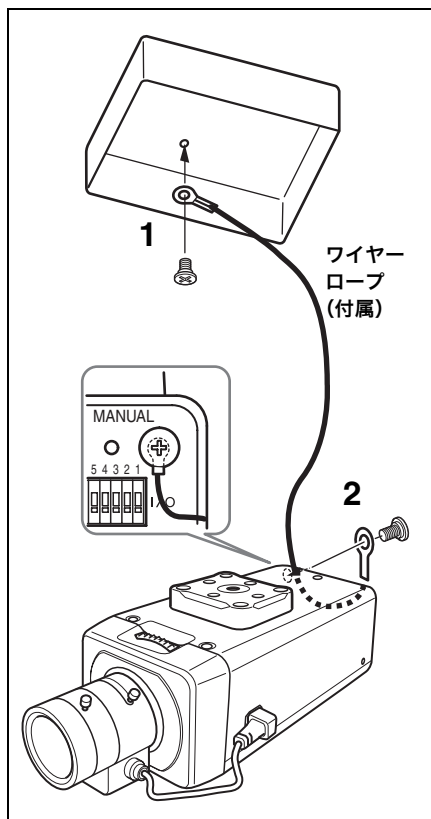
カメラを設置する際は、トライポッドアダプターを利用して、カメラ三脚やハウジングに確実に取り付けてください。
トライポッドアダプターは出荷時、上面に取り付けてありますが、カメラの設置場所に応じ、底面に付け替えることができます。

落下防止用ワイヤーロープを取り付けるには

天井などの高い場所に直接カメラを取り付ける場合は、付属の落下防止用ワイヤーロープも必ず取り付けてください。

1 天井のジャンクションボックスなどへワイヤーロープを取り付ける。

ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジ（付属していません）をお使いください。

2 **付属の段付きビスで、ワイヤーロープを本機後面のワイヤーロープ取り付けネジ穴に取り付ける。**

基本的な設置と接続

本機の性能を保持するために

使用・保管場所について

次のような場所での使用および保管は避けてください。故障の原因となります。

- 極端に暑い所や寒い所 (使用温度は − 10 ℃〜＋ 50 ℃)
- 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
- 強い振動や衝撃のある所

放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因となります。

輸送について

輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

お手入れについて

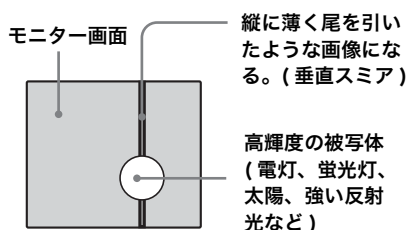
- レンズや光学フィルターの表面に付着したごみやほこりは、ブロアーで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

レーザービームについてのご注意
レーザービームは CCD に損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CCD 表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

CCD 特有の現象

CCD カメラの場合、次のような現象が起きることがありますが、故障ではありません。

スミア

高輝度の被写体を写したときに、明るい帯状の縦線 (垂直スミア) がモニター画面に見える現象です。(下図参照)

この現象は、CCD がインターライン転送方式を採用しているため、フォトセンサーの深いところに入った赤外線などにより誘起された電荷が、レジスターに転送されるために起こるものです。

折り返しひずみ

縞模様、線などを写したとき、ギザギザのちらつきが見えることがあります。

傷

CCD はフォトセンサー(素子) が縦横に並んでできており、フォトセンサーのいずれかに欠陥があると、その部分だけ画像が写らず、モニター画面に傷となって見えます (実用上支障がない程度)。

微小白点

高温時に暗い被写体を写している場合、画面全体に多数の白点が現れることがあります。

仕様

システム / ネットワーク

CPU　32 ビット RISC プロセッサー
RAM　32 MB
(約 8 MB 内蔵イメージメモリーを含む)
フラッシュメモリー
8 MB
OS　μITRON3.0 準拠
プロトコル　TCP/IP、ARP、ICMP、HTTP、FTP(サーバー / クライアント)、SMTP（クライアント)、DHCP (クライアント)、DNS（クライアント)、NTP（クライアント)、SNMP (MIB-2)
画像サイズ　736 × 480 (Auto)、
736 × 480 (Frame)、
736 × 480 (Field)、
640 × 480 (Auto)、
640 × 480 (Frame)、
640 × 480 (Field)、
320 × 240、
160 × 120
圧縮フォーマット
JPEG ベースライン準拠
画質選択（圧縮率)
約 1/5 ～ 1 /60 (10 段階)
＊圧縮率は 1 画素 24 ビット（RGB各8ビット）画像基準
フレームレート
最大 30FPS (640 × 480)
ブラウザ　Internet Explorer Ver.5.5 または 6.0
(対応 OS：Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP)
Pocket PC Internet Explorer
(対応 OS:Pocket PC 2002)
コンピューター環境
Windows
CPU: Pentium III
500MHz 以上 (Pentium 4 1GHz 以上推奨)
RAM: 128 MB 以上
表示サイズ：1024 × 768 画素、True Color 以上
Pocket PC
CPU: Strong ARM 206 MHz 以上 (互換 CPU 含む)
RAM: 64MB 以上
プラグイン : Jeode[1)]
Ver.1.9.1
最大ユーザーアクセス数
50 ユーザー
ネットワークセキュリティ
パスワード (基本認証)
IP フィルタリング
ホームページのカスタマイズ
内蔵フラッシュメモリー内のホームページを立ち上げ可能
その他の機能
動体検知機能、画像切り出し機能、時計内蔵 など

1) Jeode は、米国およびその他の国における米国 Insignia Solutions, Inc. の登録商標または商標です。

その他

カメラ

撮像素子　1/3 型インターライン転送方式（Exwave HAD™）CCD、38 万画素
有効画素数　768 (H) x 494 (V)
レンズマウント
　CS マウント
信号方式　NTSC
走査方式　525 本、2:1 インターレース
同期方式　内部同期
水平解像度　480 TV 本　（アナログビデオ）
S/N　50 dB 以上（AGC Normal、Weight On）(アナログビデオ)
最低被写体照度
　0.24 lx（30 IRE、AGC Turbo、F1.0）
　0.5 lx（50 IRE、AGC Turbo、F1.0）
　2.4 lx（100 IRE、AGC Turbo、F1.0）
AGC　Normal（18 dB 以下）/ Turbo（24 dB 以下）切り換え
電子シャッター
　Off/FL/CCD アイリス（1/60 ～ 1/10000）切り換え
ホワイトバランス
　Auto/Indoor 1/ Indoor 2/ Outdoor/One Push 切り換え
その他　動体検知機能

レンズ（標準装備）

レンズ　バリフォーカルレンズ
焦点距離　3.0 ～ 8.0 mm
最大口径比　F1.0 ～ F1.4
画角　水平：91.0° ～ 35.9°
　水平：66.6° ～ 26.9°
最短撮影距離
　0.2m

インターフェース

ネットワークポート
　10BASE-T/100BASE-TX (RJ-45)
I/O ポート　センサー入力：× 1、MAKE 接点
　アラーム出力：× 2（最大 AC/DC 24 V、1 A）（メカニカルリレー出力、本体とは電気的に絶縁）
シリアルインターフェース
　トランスペアレンシータイプ RS-232C
オートアイリスレンズ端子
　DC 制御
映像出力端子
　VIDEO OUT（BNC 型）1.0Vp-p、75Ω 不平衡、同期負極性

その他

電源電圧	AC 24V 50/60Hz、DC 12V
消費電力	最大 8W
使用温度	− 10 ℃〜 50 ℃
保存温度	− 20 ℃〜 60 ℃
動作湿度	20 〜 80 %
保存湿度	20 〜 95 %
外形寸法（幅 / 高さ / 奥行き）	70 × 57 × 159 mm レンズ、トライポッドアダプター、および突起部含まず
質量	約 650g
付属品	CD-ROM（セットアッププログラム、ユーザーガイド）（1） 落下防止用ワイヤーロープ（1） 段付きビス M4 (1) 保証書（冊子）（1） 保証シート（1） 設置説明書（1）

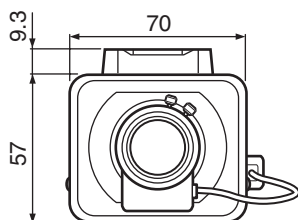
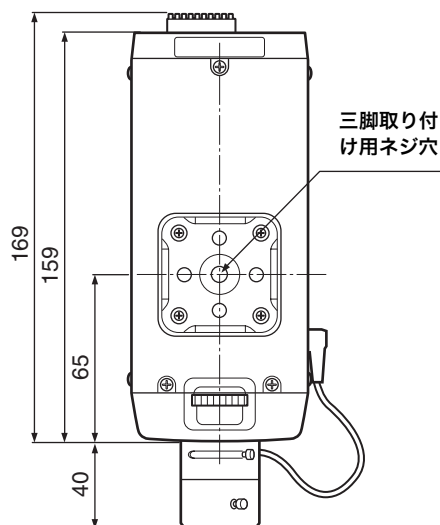
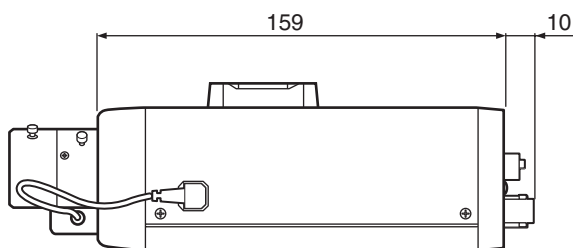
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

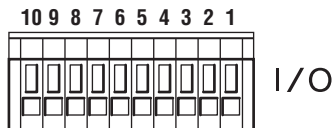
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

定期交換部品について

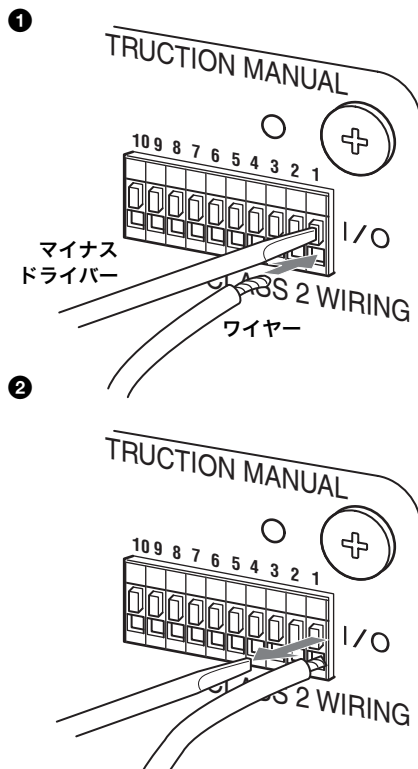
本機で使用されている部品の中には有寿命部品として定期交換が必要なもの（電解コンデンサーなど）があります。
使用環境や条件により部品の寿命は異なりますので、長期間ご使用される場合は定期点検をお勧めします。

◆詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

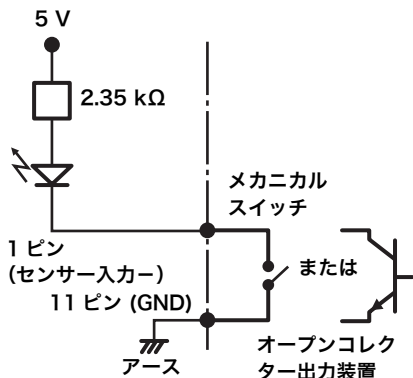
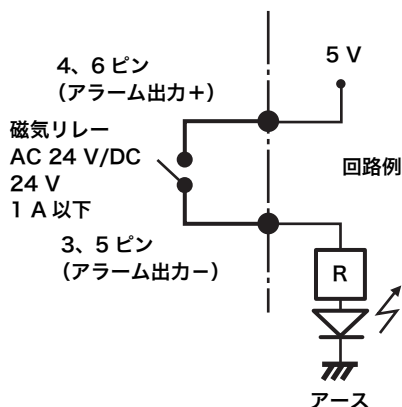
寸法図

I/O ポートのピン配列と使いかた

I/O ポートのピン配列

ピン番号	ピン番号
1	センサー入力 1 −
2	NC
3	アラーム出力 1 −
4	アラーム出力 1 +
5	アラーム出力 2 −
6	アラーム出力 2 +
7	アース (GND)
8	アース (GND) (RS-232C)
9	RXD (RS-232C)
10	TXD (RS-232C)

付属の I/O コネクターハウジングの使いかた

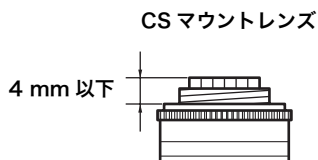
ワイヤー（AWG No.28 ～ 22）を接続したい穴の上のボタンをマイナスドライバーなどで押しながらワイヤーを差し込み、その後マイナスドライバーをボタンから離します。

同じ手順で、必要なワイヤーをすべて接続します。

センサー入力への配線図

メカニカルスイッチ / オープンコレクター出力装置

アラーム出力への配線図

CS マウントレンズの取り付けかた

本カメラには、付属以外の CS マウントレンズも使用できます。

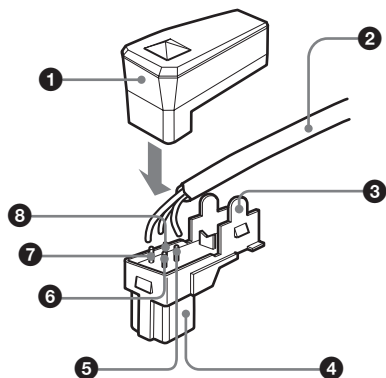
適合するレンズ

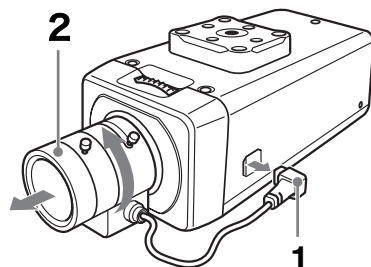
重量 1 kg 以下の CS マウントレンズでマウント面からの突起が 4mm 以下のものが使用できます。

オートアイリスレンズについて

DC 制御方式のオートアイリスレンズが使用できます。
オートアイリスレンズを本機に接続する際は、下図のようにレンズコードのプラグをオートアイリスレンズ用プラグ（別売り）と交換してください。

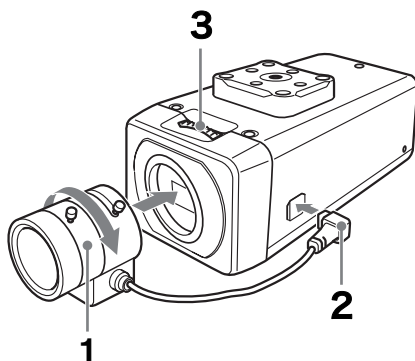
1 元のレンズコードのプラグからレンズコードを外す。

2 オートアイリスレンズ用プラグの各ピンに、レンズコードをハンダ付けする。

コードの配線は、レンズの説明書をご覧ください。

❶	カバー
❷	レンズコード
❸	リブ（ケーブルが太い場合は切り取ってください。）
❹	プラグ（別売り）
❺	ピン 4：Drive －（アース）
❻	ピン 2：Control +
❼	ピン 1：Control －
❽	ピン 3：Drive +

レンズを取り外す

1 LENS 端子からレンズコードを抜く。

2 レンズを左に回して外す。

レンズを取り付ける

1 レンズをレンズマウント部に合わせ、右に回しながらはめ込む。

2 LENS 端子にレンズコードのプラグを差し込む。

（絞りが手動のレンズを付ける場合は、手順 2 は不要です。）

3 レンズのフォーカス調整をしても∞（無限遠）にピントが合わない場合は、フランジバック調整リングを回して、フランジバックを調整する。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用製品ご相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the Top. Record these numbers in the spaces provided below.
Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No.__________ Serial No.__________

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

Power Supply

Caution for U.S.A. and Canada

The SNC-CS3N operates on 24V AC or 12V DC.
The SNC-CS3N automatically detects the power.
Use a Class 2 power supply which is UL Listed (in the U.S.A.) or CSA-certified (in Canada).

Caution for other countries

The SNC-CS3P operates on 24V AC or 12V DC.
The SNC-CS3P automatically detects the power.
Use a power supply which complies with the safety regulation of the country where the unit is used.

For customers in the U.S.A. (SNC-CS3N only)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference wll not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

The shielded interface cable recommended in this manual must be used with this equipment in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

If you have any questions about this product, you may call:
Sony's Business Information Center (BIC) at 1-800-686-7669

or Write to: Sony Customer Information Services Center
6900-29, Daniels Parkway, PMB 330
Fort Myers, Florida 33912

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model No:	SNC-CS3N
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	680 Kinderkamack Road, Oradell, NJ 07649 USA
Telephone No:	201-930-6972

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Voor de klanten in Nederland

- Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.
- Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden. De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.
- Gooi de batterij miet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).
- Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerket worden.

For customers in Taiwan only

廢電池請回收
僅適用於台灣

Table of Contents

Overview

Basic Installation and Connections

Others

- The Network Camera system and related service is not a security service. When monitoring the image and audio of the purchased Network Camera, there is a risk that the monitoring image or audio may be viewed or used by a third-party via the network. It is provided only as a convenience for people to easily access their cameras via the internet.
  When you use the Network Camera, please take into account and ensure the privacy and portrait right of the object at your own responsibility.
- Access to the camera or system is limited to the user setting up a user name and password only. No further authentication is provided nor should the user presume that such filtering is done by the service.
- Sony assumes no liability should the service related to the Network Camera goes down or interrupted for whatever reason.

▶ ***Overview***

Features

High-quality monitoring via the network

You can monitor a high-quality live image from the camera using the Web browser on the computer connected to the 10BASE-T or 100BASE-TX network. The maximum frame rate is 30 FPS for the SNC-CS3N and 25 FPS for the SNC-CS3P.
Up to 50 users can view the image from one camera at the same time.

Available Web browsers

Microsoft Internet Explorer Ver. 5.5 or 6.0 (Available OS: Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP)

High-sensitivity and superior picture quality

The 1/3 type Exwave HAD™ CCD offers superior picture quality – high horizontal resolution, high sensitivity, an excellent signal-to-noise and a low smear level.

Image recording on the built-in memory

You can record still images from the camera onto the camera's built-in memory (about 8 MB). You can record a still image at the moment when a trigger by the external sensor input, built-in activity detection function or manual trigger button occurs, or still images sequentially for a determined period before and after the trigger. Periodic recording of still images is also possible.

Image transmission using an E-mail or FTP server

You can send a still image from the camera as an attachment of an E-mail or to an FTP server, at the moment when a trigger by the external sensor input, built-in activity detection function or manual trigger button occurs. You can also send still images sequentially for a determined period before and after the trigger to an FTP server, or send them periodically.
If you use the FTP client software of the computer, you can also search for and receive the still image recorded in the built-in memory.

Alarm output

The camera is equipped with two sets of alarm outputs. You can use them to control peripheral devices by synchronizing with the external sensor inputs, built-in activity detection function, manual trigger button, or timer.

Transparency-type RS-232C interface

If you connect peripheral devices to the camera via the RS-232C interface, you can control the devices from the computer via the network and receive data from these devices.

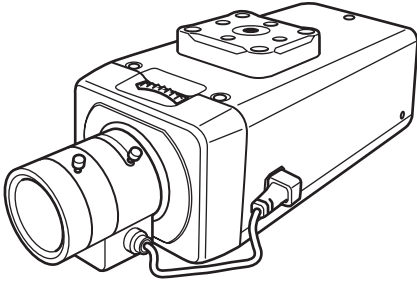
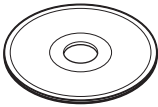
Analog video output

The analog video output allows connecting a VTR or TV monitor for local image recording and monitoring.

- CCD: Charge-Coupled Device

Supplied Accessories

When you unpack, check that all the supplied accessories are included.

Camera (1)

CD-ROM (including the Setup Program and User's Guide) (1)

Wire rope (1)

Shoulder screw M4 (1)

Installation Manual (this document) (1)

B&P Warranty Booklet (1) (SNC-CS3N only)

About the Supplied Manuals

Names of Manuals

The following manuals are supplied with this unit.

Installation Manual (this document)

The Installation Manual describes the names and functions of the parts of the camera, the installation and connections of the camera, etc. Be sure to read it before operating the camera.

User's Guide (stored in the CD-ROM)

The User's Guide describes the setup of the camera and the operations from the Web browser.

To open the User's Guide, see "Using the CD-ROM Manuals" below.

Using the CD-ROM Manuals

The supplied CD-ROM disc includes the User's Guides for the SNC-CS3N/CS3P (Japanese, English, French, German, Spanish, Italian and Chinese versions).

CD-ROM System Requirements

The following are required to access the supplied CD-ROM disc.

- Computer: PC with Intel Pentium CPU
  Installed memory: 64 MB or more
  CD-ROM drive: × 8 or faster
- Monitor: Monitor supporting resolution of 800 × 600 or higher
- OS: Microsoft Windows Millennium Edition, Windows 2000 Service Pack 2, Windows XP Professional or Home Edition

When these requirements are not met, access to the CD-ROM disc may be slow, or not possible at all.

Preparations

The Adobe Acrobat Reader Version 4.0 or later or the Adobe Reader Version 6.0 or later must be installed on your computer in order to use the User's Guide contained in the CD-ROM disc.

Note

If Adobe Acrobat Reader or Adobe Reader is not installed, it may be downloaded from the following URL:

http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html

Reading the manual in the CD-ROM

To read the User's Guide contained in the CD-ROM disc, do the following.

1 Insert the supplied CD-ROM disc into your CD-ROM drive.

2 Double-click the Manual folder.

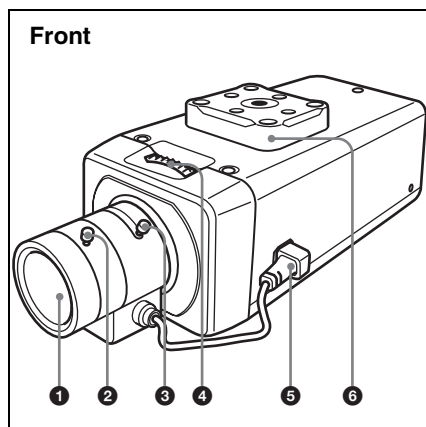
3 Double-click the version you want to read.

A PDF file of the User's Guide opens.

Note

If you lose the CD-ROM disc or become unable to read its content, for example because of a hardware failure, contact a Sony service representative.

Location and Functions of Parts and Controls

Front

1 Lens

A vari-focal lens is mounted as standard equipment.

2 Focus ring

Turn this ring toward N (near) to focus on a closer object. Turn it toward ∞ (infinite) to focus on a farther object.

3 Zoom ring

Turn this ring toward T for telephoto, or toward W for wide-angle.

4 Flange focal length adjustment ring

Use this ring to adjust the focal length (the distance between the lens mounting plane and the image plane).

5 Auto iris lens connector

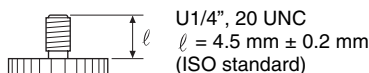
The power and control signal is supplied to a DC servo-type auto iris lens when the cable of the lens is connected.

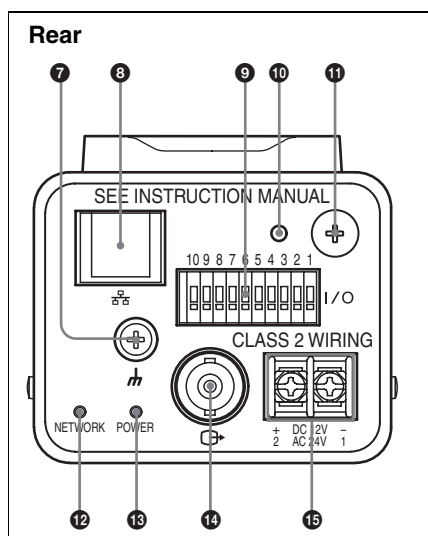
6 Tripod adapter

The tripod adapter is attached to the top of the camera (SNC-CS3N) or to the bottom (SNC-CS3P) at the factory. As is

detachable, you can attach it to either the top or bottom of the camera.

Use this adapter when attaching the camera to a tripod (screw: 1/4”, 20 UNC). The following mounting screw can be used.

U1/4”, 20 UNC
ℓ = 4.5 mm ± 0.2 mm
(ISO standard)

Caution

Use the mounting screw whose length is 4.5 mm ± 0.2 mm only. Use of other screws may cause improper mounting and damage parts inside the camera.

❼ ⏚ (ground) terminal

This is a ground terminal for the chassis.

Note

When 24 V AC or 12 V DC is supplied to the unit, the maximum power consumption of the unit is 8 W. Check the maximum allowable power when you connect the unit.

❽ 品 (network) port

Connect to a hub or computer on the 10BASE-T or 100BASE-TX network using a network cable (UTP, category 5).

Caution

When using a LAN cable: For safety, do not connect to the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage.

❾ I/O (Input/Output) port

This port is provided with an RS-232C port, a sensor input and two alarm outputs.
The RS-232C port is used when you connect peripheral devices to the camera using the RS-232C interface, and control the devices from the computer or receive data from the devices via the network.
The sensor input is used as the alarm input. The camera operation can be synchronized with E-mail or other applications.
The alarm output is used to control connected peripheral devices by synchronizing with an external sensor input, the built-in activity detection function, a manual trigger button, or the timer function.

For details on each function and required settings, see the User’s Guide stored in the supplied CD-ROM.

For pin assignment and wiring, see “Pin Assignment and Use of I/O Port” on page 21.

❿ Reset switch

To reset the camera to the factory default settings, hold down this switch and supply the power to the camera.

⓫ Wire rope mounting screw hole

When installing the camera to the ceiling or the wall, secure the supplied wire rope to this hole using the supplied shoulder screw.

⑫ NETWORK indicator (orange/ green)

The indicator flashes in orange when the camera is connected to the 10BASE-T network; it flashes in green when the camera is connected to the 100BASE-TX network.
The indicator goes off when the camera is not connected to the network.

⑬ POWER indicator (green)

When the power is supplied to the camera, the camera starts checking the system. If the system is normal, this indicator lights up.

If a system error occurs, this indicator flashes every second. In this case, consult your authorized Sony dealer.

⑭ ⊖ (video output) connector (BNC type)

Outputs a composite video signal. Connect to a composite video input connector of a video monitor, VCR, etc.

⑮ DC 12 V/AC 24 V (power input) terminal

Connect to a 12V DC or 24V AC power supply system.

System Requirements

Processor

Pentium III 500 MHz or higher (Pentium 4, 1 GHz or higher recommended)

RAM

128 MB or more

OS

Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP

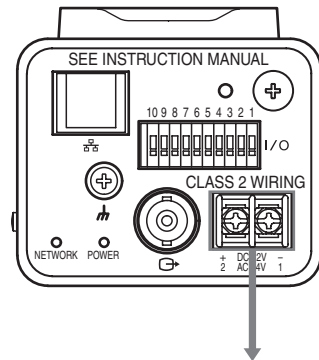
Web browser

Internet Explorer Ver. 5.5 or Ver. 6.0

Connecting Power

Two power supply systems are provided for this unit.

- 12 V DC
- 24 V AC

Connect the 12 V DC or 24 V AC power supply system to the power input terminal of the camera.

to 12 V DC or

About the power source

Use the 12 V DC or 24 V AC power source isolated from the 100 to 240 V AC.
The usable voltage range is as follows:
12 V DC: 10.8 to 13.2 V
24 V AC: 21.6 to 26.4 V

Use the UL cable (VW-1 style 1007) for 12 V DC or 24 V AC connection.
For the 24 V AC power source, connect the ground to the ⏚ terminal.

Recommended camera cable for each power source

12 V DC

Cable (AWG)	#24 (0.22 mm)	#22 (0.33 mm)	#20 (0.52 mm)	#18 (0.83 mm)
Maximum cable length (m (feet))	12 (39)	18 (59)	30 (99)	50 (164)

24 V AC

Cable (AWG)	#24 (0.22 mm)	#22 (0.33 mm)	#20 (0.52 mm)	#18 (0.83 mm)
Maximum cable length (m (feet))	35 (115)	60 (197)	100 (328)	150 (492)

Assigning the IP Address to the Camera

To connect the camera to a network, you need to assign a new IP address to the camera.
Before assigning the IP address, connect the camera to a computer or a network. To connect to the computer, use a commercially available network cable (cross cable). To connect to the network, use a commercially available network cable (straight cable).
You can assign the IP address in two ways:

- **Using the setup program stored in the supplied CD-ROM**

For details on the operations, see "Assigning the IP Address Using the Setup Program" on page 12.

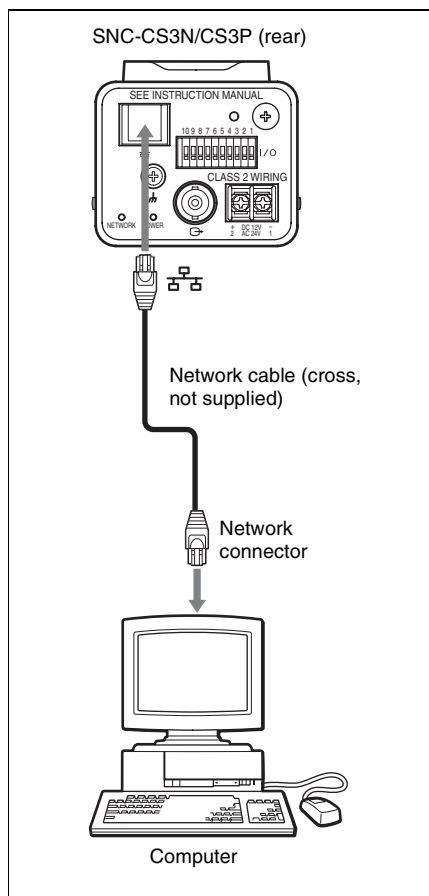
- **Using the ARP (Address Resolution Protocol) commands**

Open the DOS window on the computer and enter the specified ARP commands.

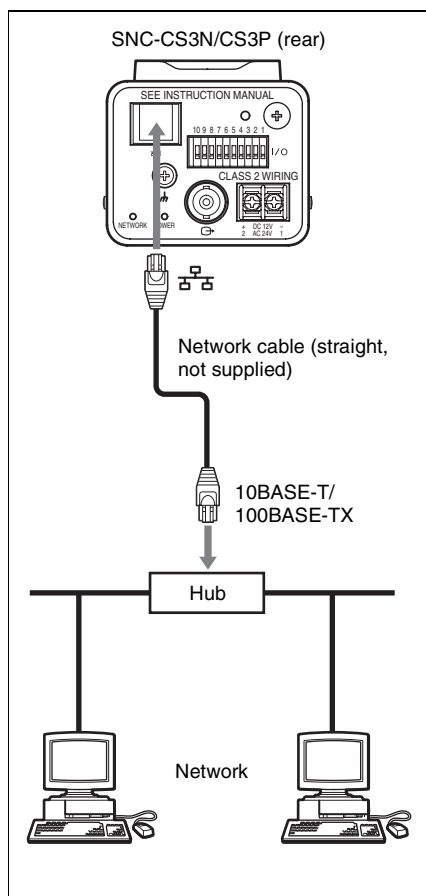
For details on the operations, see "Assigning the IP Address to the Camera Using ARP Commands" in the User's Guide stored in the supplied CD-ROM.

Notes

For determining the IP address to be assigned to the camera, consult your system administrator.

Connecting the Camera to a Computer

1 **Using a commercially available network cable (cross), connect the (network) port of the camera to the network connector of a computer.**

2 **Supply the power to the camera. (See page 9.)**

Connecting the Camera to a Local Network

1 **Using a commercially available network cable, connect the (network) port to a hub in the network.**

2 **Supply the power to the camera. (See page 9.)**

Assigning the IP Address Using the Setup Program

1 **Insert the supplied CD-ROM disc into your CD-ROM drive.**

2 **Double-click the Setup folder in the CD-ROM drive.**

3 **Double-click Setup.exe.**

4 **Install the IP Setup Program to your computer following the wizard displayed.**

If the Software License Agreement is displayed, read it carefully and accept the agreement to continue the installation.

5 **Start the IP Setup Program.**

The program detects the SNC-CS3 cameras connected on the local network and lists them on the Network tab window.

6 **Click on the camera you want to assign a new IP address in the list.**

MAC address	IP address	Model	Serial No.	Version No.
08-00-46-7a-d6-39	192.168.0.100	SNC-CS3N	310277	1.04

The network settings for the selected camera are displayed.

7 **Set the IP address.**

To obtain the IP address automatically from a DHCP server:

Select **Obtain an IP address automatically**.

The IP address, Subnet mask and Default gateway are assigned automatically.

To specify the IP address manually:

Select **Use the following IP address**, and type the IP address, Subnet mask and Default gateway in each box.

Obtain an IP address automatically
Use the following IP address
IP address 192 . 168 . 0 . 100
Subnet mask 255 . 255 . 255 . 0
Default gateway

8 **Set the primary DNS Server address and, if necessary, secondary DNS server address.**

To obtain the DNS server addresses automatically:

Select **Obtain DNS server address automatically**.

Obtain DNS server address automatically
Use the following DNS server address

To specify the DNS server addresses manually:

Select **Use the following DNS server address**, and type the primary DNS server address and Secondary DNS address in each box.

Note

The Third DNS Server address and Fourth DNS Server address are invalid for this camera.

9 Set the HTTP port number.

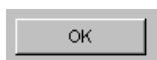
Normally select **80** for the HTTP port No. To use another port number, select the text box and type a port number between 1024 and 65535.

10 Type the Administrator name and Administrator password.

The default settings of both items are "admin."

Note

You cannot change the Administrator name and Administrator password in this step. To change these items, see "Setting the User – User setting Page" of the User's Guide stored in the supplied CD-ROM.

11 Confirm that all items are correctly set, then click OK.

If "Setting OK" is displayed, the IP address is correctly assigned.

Accessing the Camera Using the Web Browser

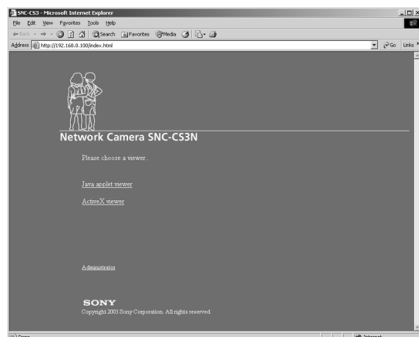
When the IP address has been assigned to the camera, check that you can actually access the camera using the Web browser installed in your computer.
Use Internet Explorer as the Web browser.

For details on the operations using the Web browser, see the User's Guide stored in the supplied CD-ROM.

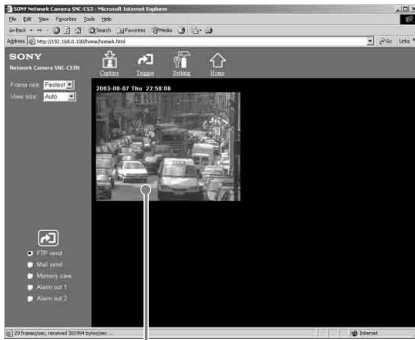
1 Start the Web browser on the computer and type the IP address of the camera in the URL box.

Example:

Address http://192.168.0.100

The Welcome page of **Network Camera SNC-CS3** is displayed.

2 Click ActiveX viewer.

The Main Viewer page is displayed and the monitor image from the camera appears on the screen.

When you display the monitor image from the camera for the first time, the Security Warning appears. Click **Yes** and install the ActiveX Control.

Now the IP address assignment is completed.
Proceed to “Installing the Camera.”

Note

To operate the welcome page correctly, set the security level of the Internet Explorer to **Medium** or lower, as follows:

1 Select **Tool** from the menu bar of Internet Explorer, then select **Internet Options** and **Security** tab in sequence.

2 Click the **Internet** icon (when using the camera via the Internet) or **Local intranet** icon (when using the camera via a local network).

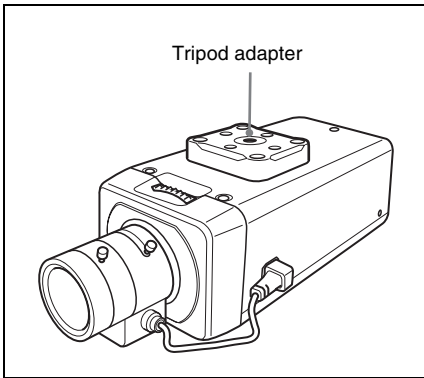
3 Set the slider to **Medium** or lower. (If the slider is not displayed, click **Default Level**.)

Notes

- When you install ActiveX viewer on Windows NT4.0, Windows 2000 or Windows XP, you should have logged in the computer as the Administrator.
- If you cannot display the image on Windows NT4.0 or Windows 98, install MFC42DLL Version Up Tool stored in the supplied CD-ROM.
- If Automatic configuration is enabled in the Local Area Network (LAN) Settings on Internet Explorer, the image may not be displayed. In this case, disable Automatic configuration and set the Proxy server manually. For setting the Proxy server, consult your network administrator.
- The page may not be displayed correctly if you use antivirus software in your computer.

Installing the Camera

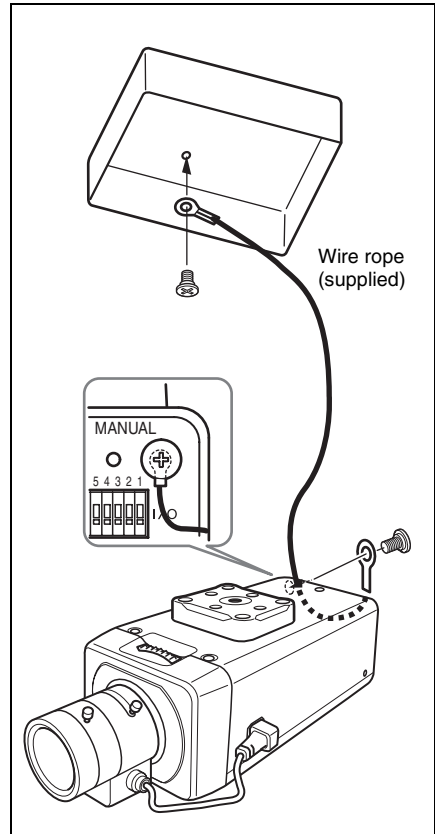
Installing the camera

When you install a tripod or housing on the camera, use the tripod adapter attached to the camera to secure the camera firmly. Although the tripod adapter has been attached to the top of the camera at the factory, you can attach it to the bottom of the camera according to your camera location.

To install the drop-prevention wire rope

When you install the camera at a higher location such as a ceiling, be sure to install the supplied drop-prevention wire rope to the camera.

1 Secure the wire rope to the junction box on the ceiling.

Use a screw to match the screw hole of your junction box (not supplied).

2 Secure the wire rope to the wire rope mounting screw hole on the rear of the camera using the supplied shoulder screw.

Precautions

This Sony product has been designed with safety in mind. However, if not used properly electrical products can cause fires which may lead to serious body injury.
To avoid such accidents, be sure to heed the following.

Heed the safety precautions

Be sure to follow the general safety precautions, and the "Operating Precautions."

In case of a breakdown

In case of a system breakdown, discontinue use and contact your authorized Sony dealer.

In case of abnormal operation

- If the unit emits smoke or an unusual smell,
- If water or other foreign objects enter the cabinet, or
- If you drop the unit or damage the cabinet:

1 Disconnect the camera cable and the connecting cables.

2 Contact your authorized Sony dealer or the store where you purchased the product.

Operating Precautions

Operating or storage location

Avoid operating or storing the camera in the following locations:
- Extremely hot or cold places (Operating temperature: -10°C to +50°C [14°F to 122°F])
- Exposed to direct sunlight for a long time, or close to heating equipment (e.g., near heaters)
- Close to sources of strong magnetism
- Close to sources of powerful electromagnetic radiation, such as radios or TV transmitters
- Locations subject to strong vibration or shock

Ventilation

To prevent heat buildup, do not block air circulation around the camera.

Transportation

When transporting the camera, repack it as originally packed at the factory or in materials of equal quality.

Cleaning

- Use a blower to remove dust from the lens or optical filter.
- Use a soft, dry cloth to clean the external surfaces of the camera. Stubborn stains can be removed using a soft cloth dampened with a small quantity of detergent solution, then wipe dry.
- Do not use volatile solvents such as alcohol, benzene or thinners as they may damage the surface finishes.

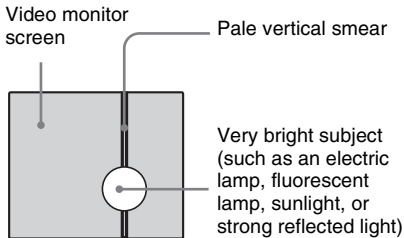
Note on laser beams

Laser beams may damage the CCDs. If you shoot a scene that includes a laser beam, be careful not to let a laser beam become directed into the lens of the camera.

Typical CCD Phenomena

The following phenomena may appear on the monitor screen while you are using a CCD color video camera. These phenomena stem from the high sensitivity of the CCD image sensors, and do not indicate a fault within the camera.

Vertical smear

A “smear” may appear to extend vertically from very bright subjects, as shown below.

This phenomenon is common to CCD imaging elements using an interline transfer system, and is caused when electric charge induced by infrared radiation deep within the photo sensor is transferred to the resistors.

Aliasing

When shooting fine stripes, straight lines or similar patterns, the lines may become slightly jagged.

Blemishes

A CCD image sensor consists of an array of individual picture elements (pixels). A malfunctioning sensor element will show up as a single pixel blemish in the image. This is generally not a problem.

White speckles

When you shoot a poorly illuminated object at a high temperature, small white dots may appear all over the entire screen image.

Specifications

System/network

CPU 32-bit RISC processor
RAM 32 MB
including the built-in image memory of about 8 MB
Flash memory 8 MB
OS µITRON 3.0 compliant
Protocol TCP/IP, ARP, ICMP, HTTP, FTP (server/client), SMTP (client), DHCP (client), DNC (client), NTP (client) SNMP (MIB-2)
Image size **SNC-CS3N**
736 × 480 (Auto), 736 × 480 (Frame), 736 × 480 (Field), 640 × 480 (Auto), 640 × 480 (Frame), 640 × 480 (Field), 320 × 240, 160 × 120
SNC-CS3P
736 × 544 (Auto), 736 × 544 (Frame), 736 × 544 (Field), 640 × 480 (Auto), 640 × 480 (Frame), 640 × 480 (Field), 320 × 240, 160 × 120
Compression format
JPEG, baseline compliant
Image quality (compression rate)
Approx. 1/5 to 1/60 (10 steps)
The compression rate is based on an image of 24 bits/picture element (8 bits for each R, G and B).
Frame rate **SNC-CS3N**
Max. 30 FPS (640 × 480)
SNC-CS3P
Max. 25 FPS (640 × 480)
Web browser Internet Explorer Ver. 5.5 or 6.0 (Available OS: Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP)
Pocket PC Internet Explorer (Available OS: Pocket PC 2002)
Computer environments
Windows
CPU: Pentium III 500 MHz or higher (Pentium 4, 1 GHz or higher recommended)
RAM: 128 MB or more
Display size: 1024 × 768, True Color or more
Pocket PC
CPU: Strong ARM 206 MHz or higher, or compatible CPUs
RAM: 64 MB or more
plug-in: Jeode[1] Ver.1.9.1
Maximum user access
50 users
Network security
Password (basic authentication), IP filtering
Homepage customization
Starting from a homepage in the built-in flash memory is possible.
Other functions
Activity detection, image trimming, built-in clock, etc.

1) Jeode is a registered trademark or trademark of Insignia Solutions, Inc. in the United States and other countries.

Camera

Image device **SNC-CS3N**
1/3 type interline transfer (Exwave HAD™) CCD, 380,000 picture elements
SNC-CS3P
1/3 type interline transfer (Exwave HAD™) CCD, 440,000 picture elements
Effective picture elements
SNC-CS3N
768 (horizontal) × 494 (vertical)
SNC-CS3P
752 (horizontal) × 582 (vertical)
Lens mount CS mount
Signal format **SNC-CS3N:** NTSC
SNC-CS3P: PAL
Scanning **SNC-CS3N**
525 lines, 2:1 interlace
SNC-CS3P
625 lines, 2:1 interlace
Synchronization
Internal synchronization
Horizontal resolution
480 TV lines (analog video)
Signal-to-noise ratio
50 dB (AGC Normal, Weight On) (analog video)
Minimum illumination
0.24 lx (30 IRE, AGC Turbo, F1.0)
0.5 lx (50 IRE, AGC Turbo, F1.0)
2.4 lx (100 IRE, AGC Turbo, F1.0)
AGC Normal (18 dB or less)/Turbo (24 dB or less) switchable
Electronic shutter
Off/FL/CCD Iris (1/60 to 1/10,000) switchable
White balance
Auto/Indoor 1/Indoor 2/Outdoor/ One Push switchable

Other functions
Activity detection function

Lens (standard equipment)

Lens Vari-focal lens
Focal length 3.0 to 8.0 mm
F number F1.0 to F1.4
View angle Horizontal 91.0° to 35.9°
Vertical 66.6° to 26.9°
Minimum object distance
0.2 m

Interface

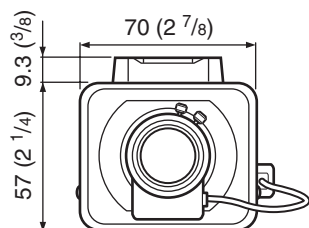
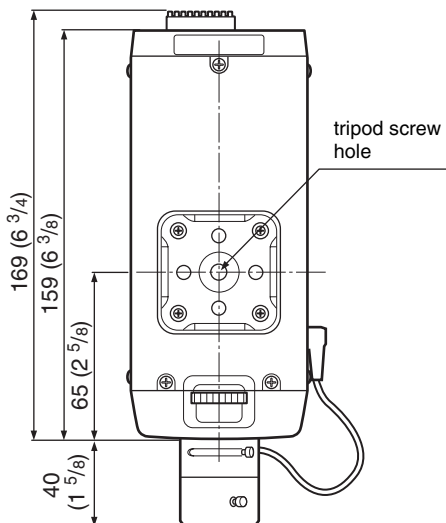
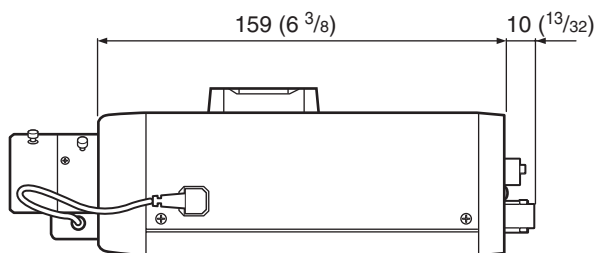
Network port 10BASE-T/100BASE-TX (RJ-45)
I/O port Sensor input : make contact
Alarm output 1 and 2: 24 V AC/DC or less, 1 A
(mechanical relay outputs electrically isolated from the camera)
Serial interface
Transparency type RS-232C
Auto iris lens connector
DC servo
Video output VIDEO OUT: BNC, 1.0 Vp-p, 75 ohms, unbalanced, sync negative

Others

Power supply 24 V AC 50/60 Hz, 12 V DC
Power consumption
8 W max.
Operating temperature
–10 °C to 50 °C (14 °F to 122 °F)
Storage temperature
–20 °C to 60 °C (–4 °F to 140 °F)
Operating humidity
20 to 80 %
Storage humidity
20 to 95 %
Dimensions 70 × 57 × 159 mm (2 7/8 × 2 1/4 × 6 3/8 inches)
not including the projecting parts, lens and tripod adapter
Mass Approx. 650 g (1 lb 7 oz)
Supplied accessories
CD-ROM (setup program and User's Guide) (1)
Wire rope (1)
Shoulder screw M4 (1)
Installation Manual (this document) (1)
B&P Warranty Booklet (1) (SNC-CS3N only)

Design and specifications are subject to change without notice.

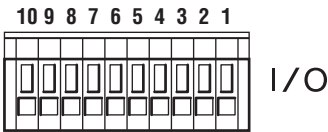
Regular parts replacement

Some of the parts that make up this product (electrolytic condencer, for example) need replacing regularly depending on their life expectancies.
The lives of parts differ according to the environment or condition in which this product is used and the length of time it is used, so we recommend regular checks.
Consult the dealer from whom you bought it for details.

Dimensions

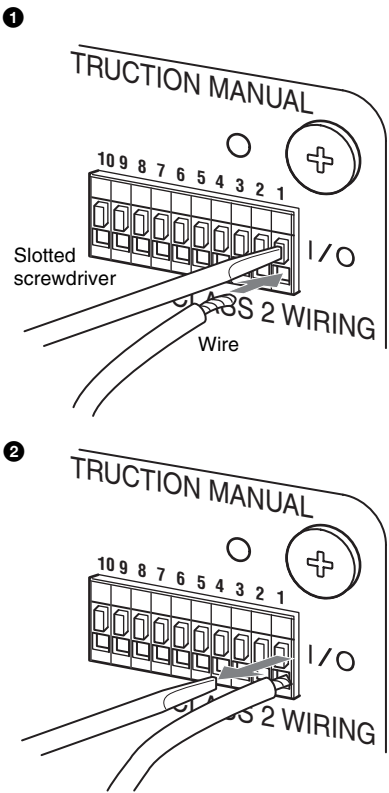
Note

The illustrations above show the SNC-CS3N. For the SNC-CS3P, the tripod adapter is attached to the bottom of the camera at the factory.

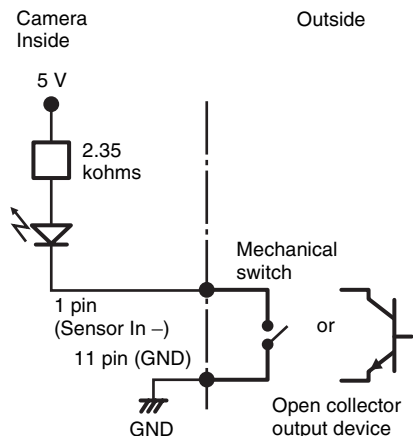
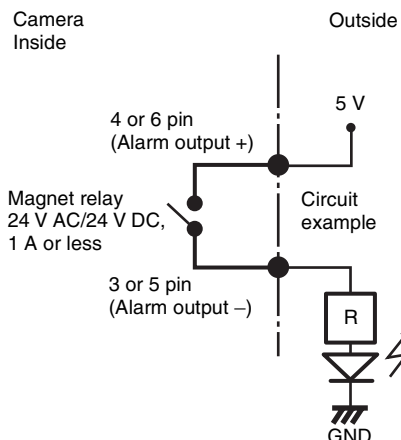
Pin Assignment and Use of I/O Port

Pin assignment of I/O port

Pin No.	Pin name
1	Sensor In 1 –
2	Not connected
3	Alarm Out 1 –
4	Alarm Out 1 +
5	Alarm Out 2 –
6	Alarm Out 2 +
7	GND
8	GND (RS-232C)
9	RXD (RS-232C)
10	TXD (RS-232C)

Using the I/O receptacle

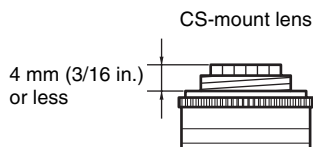
While holding down the button on the slot to which you want to connect the wire (AWG No. 28 to 22) with a small slotted screwdriver, insert the wire into the slot. Then release the screwdriver from the button.

Repeat this procedure to connect all required wires.

Wiring diagram for sensor input

Mechanical switch/open collector output device

Wiring diagram for alarm output

Attaching a CS-mount Lens

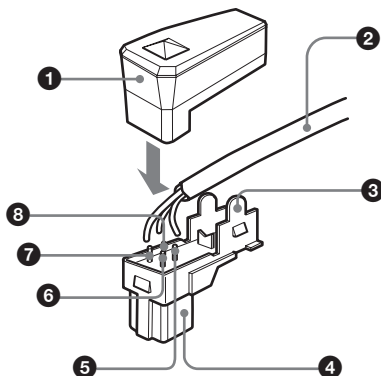
You can use a CS mount lens other than the supplied lens with this camera.

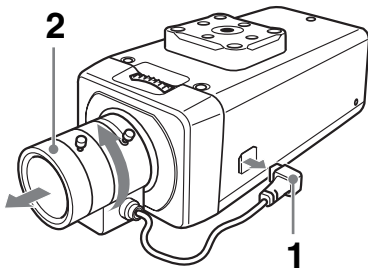
Suitable lens

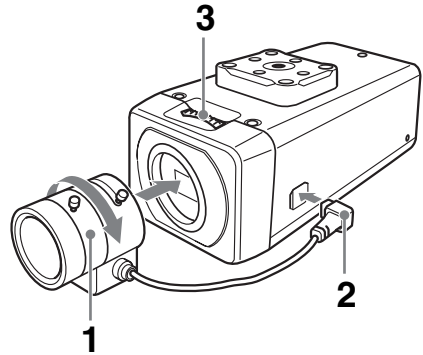
The lens must be a CS-mount type of less than 1 kg (2 lb 4 oz). The protrusion behind the mounting surface must be 4 mm (3/16 in.) or less.

About the auto-iris lens

You can use a DC-servo type auto iris lens with this camera.
To connect the auto-iris lens, first replace the plug on the lens cable with a plug that fits the LENS connector (not supplied).

1 Detach the old plug from the lens cable.

2 Solder the wires of the lens cable to the pins of the plug.
For cable pin assignment, refer to the instruction manual of the lens.

❶	Cover
❷	Lens cable
❸	Rib (If the cable is thick, cut this off.)
❹	Plug (not supplied)
❺	Pin 4: Drive – (Ground)
❻	Pin 2: Control +
❼	Pin 1: Control –
❽	Pin 3: Drive +

Detaching the Lens

Disconnect the lens cable from the LENS connector.
Turn the lens counterclockwise to detach it from the camera.

Attaching the Lens

1 Align the lens with the lens mount of the camera, and turn it clockwise until it is secured.

2 Insert the plug of the lens cable into the LENS connector.
When fitting a manual-iris lens, omit step 2.

3 If the focus cannot be adjusted correctly at ∞(infinite), adjust the focal length by turning the focal length adjustment ring.

Others

AVERTISSEMENT

Pour éviter tout risque d'incendie ou d'électrocution, n'exposez pas cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

Alimentation

Avertissement pour les États-Unis et le Canada
La SNC-CS3N fonctionne sur du 24 V CA ou 12 V CC.
La SNC-CS3N détecte automatiquement l'alimentation.
Utilisez une alimentation classe 2 répertoriée UL (aux États-Unis) ou homologuée CSA (au Canada).

Avertissement pour les autres pays
La SNC-CS3P fonctionne sur du 24 V CA ou 12 V CC.
La SNC-CS3P détecte automatiquement l'alimentation.
Utilisez une alimentation conforme à la réglementation de sécurité du pays d'utilisation de l'appareil.

Table des matières

Description générale

Installation et raccordements de base

Autres informations

FR

- Le système de caméra en réseau et le service qui lui est lié ne sont pas sécurisés. Lorsque vous surveillez l'image et le son de la caméra en réseau dont vous avez fait l'acquisition, il existe un risque que l'image de contrôl puisse être visualisée ou que le son puis être utilisé par un tiers via le réseau. Ce service n'est fourni aux utilisateurs que comme moyen pratique d'accéder à leurs caméras via l'Internet.
  Lorsque vous utilisez la caméra en réseau, veuillez prendre en compte ce fait pour assurer la confidentialité et visualisez l'objet à vos risques et périls.
  Veillez, en outre, à respecter le droit d'image des personnes et des biens filmés.
- L'accès à la caméra ou au système est limitée à l'utilisateur qui configure un nom d'utilisateur et un mot de passe. Aucune autre mesure d'authentification n'est fournie et l'utilisateur ne doit pas croire que le service exécute un autre filtrage quelconque.
- Sony décline toute responsabilité en cas de panne ou d'interruption du service de caméra en réseau due à quelque cause que ce soit.

▶ ***Description générale***

Caractéristiques

Visualisation d'image de haute qualité via un réseau

Vous pouvez visualiser en direct une image de haute qualité de la caméra en utilisant le navigateur Internet d'un ordinateur connecté à un réseau 10BASE-T ou 100BASE-TX. Le taux de trame maximum est de 30 FPS pour la SNC-CS3N et de 25 FPS pour la SNC-CS3P.
Jusqu'à 50 utilisateurs peuvent visualiser simultanément l'image d'une même caméra.

Navigateur Internet disponible

Microsoft Internet Explorer Ver. 5.5 ou 6.0
(Système d'exploitation disponible :
Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP)

Haute sensibilité et qualité d'image supérieure

Le CCD 1/3 Exwave HAD™ offre une qualité d'image supérieure : résolution horizontale élevée, haute sensibilité, excellent rapport signal/bruit et faible niveau de maculage.

Enregistrement d'images dans la mémoire embarquée

Vous pouvez enregistrer des images fixes prises avec la caméra dans sa mémoire embarquée (8 Mo environ).
L'enregistrement d'une image fixe peut être déclenché par l'entrée d'un capteur externe, la fonction embarquée de détection d'activité ou le déclencheur manuel. Vous pouvez également enregistrer des images fixes séquentiellement pendant une durée déterminée avant et après le déclenchement.
L'enregistrement périodique d'images fixes est également possible.

Transmission des images par courrier électronique ou serveur FTP

L'envoi d'une image fixe de la caméra comme pièce jointe à un e-mail ou vers un serveur FTP peut être déclenché par l'entrée d'un capteur externe, la fonction embarquée de détection d'activité ou le déclencheur manuel. L'envoi d'images fixes séquentiellement pendant une durée déterminée avant et après le déclenchement à un serveur FTP ou leur l'envoi périodique est également possible.
Si vous utilisez le logiciel client FTP de l'ordinateur, vous pouvez également rechercher et recevoir des images fixes de la mémoire embarquée.

Sortie d'alarme

La caméra comporte deux sorties d'alarme. Vous pouvez les utiliser pour une commande de périphériques synchronisée avec les entrées de capteurs externes, la fonction embarquée de détection d'activité, le déclencheur manuel, ou le programmateur.

Interface RS-232C transparente

En raccordant des périphériques à la caméra via l'interface RS-232C, vous pouvez les commander depuis l'ordinateur sur le réseau et en recevoir les données.

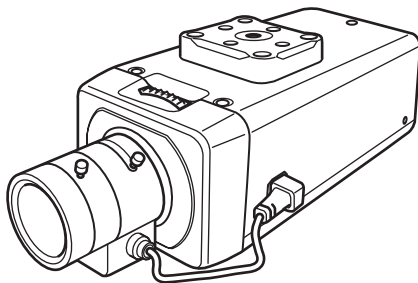
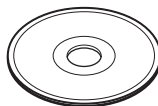
Sortie vidéo analogique

La sortie vidéo analogique vous permet de raccorder un magnétoscope ou un moniteur TV pour l'enregistrement et la visualisation de l'image locaux.

- Microsoft, Windows, Internet Explorer et MS-DOS sont des marques déposées de Microsoft Corporation aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.
- Exwave HAD™ : Exwave Hole-Accumulated Diode
  « Exwave HAD™ » est une marque de Sony Corporation.
- CCD : Dispositif à couplage de charge

Accessoires fournis

Au déballage, assurez-vous qu'aucun des accessoires fournis ne manque.

Caméra (1)

CD-ROM (contenant le programme d'installation et le Guide de l'utilisateur) (1)

Câble métallique (1)

Vis épaulée M4 (1)

Manuel d'installation (ce document) (1)

Livret de garantie B&P (1) (SNC-CS3N) seulement)

Notes sur les manuels fournis

Nom des manuels

Les manuels suivants sont fournis avec cet appareil.

Manuel d'installation (cet manuel)

Le Manuel d'installation décrit la nomenclature et les fonctions des pièces, l'installation et les raccordements de la caméra, etc. Lisez-le impérativement avant l'utilisation.

Guide de l'utilisateur (sur le CD-ROM)

Le Guide de l'utilisateur décrit l'installation de la caméra et les opérations depuis le navigateur Internet.

Pour ouvrir le Guide de l'utilisateur, voir « Utilisation des manuels sur le CD-ROM » ci-dessous.

Utilisation des manuels sur le CD-ROM

Le CD-ROM fourni contient les Guides de l'utilisateur pour la SNC-CS3N/CS3P (versions japonaise, anglaise, française, allemande, espagnole, italienne et chinoise).

Configuration système requise de CD-ROM

La configuration suivante est requise pour l'accès au CD-ROM fourni :

- Ordinateur : Ordinateur avec microprocesseur Pentium Intel
  Mémoire installée : 64 Mo ou plus
  Lecteur de CD-ROM : × 8 ou plus puissant
- Écran : Écran avec une résolution de 800 × 600 ou plus
- Système d'exploitation : Microsoft Windows Millennium Edition, Windows 2000 Service Pack 2, Windows XP Professionnel ou Édition familiale

Si ces conditions ne sont pas satisfaites, l'accès au CD-ROM peut être lent ou impossible.

Préparation

Pour pouvoir ouvrir le Guide de l'utilisateur se trouvant sur le CD-ROM, le logiciel Adobe Acrobat Reader version 4.0 ou plus récente ou le logiciel Acrobat Reader Version 6.0 ou plus doit être installé sur l'ordinateur.

Remarque

Si Adobe Acrobat Reader ou Adobe Reader n'est pas installé sur l'ordinateur, vous pouvez le télécharger à l'adresse suivante :
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html

Lecture du manuel sur CD-ROM

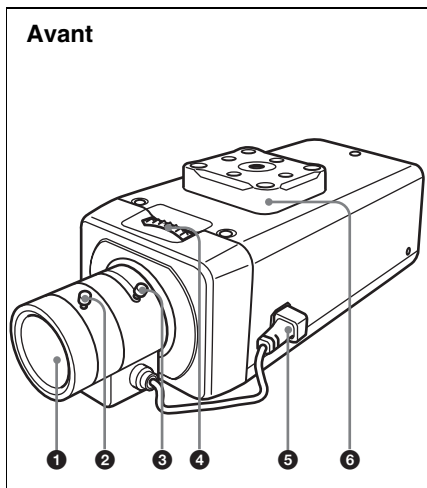
Pour lire le Guide de l'utilisateur se trouvant sur le CD-ROM, procédez comme suit :

1. Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur CD-ROM.
2. Double-cliquez sur le dossier Manual.
3. Double-cliquez sur la version que vous désirez lire.
   Le fichier PDF contenant le Guide de l'utilisateur s'ouvre.

Remarque

Si vous égarez le CD-ROM ou ne parvenez pas à en lire le contenu (en raison d'une défaillance du matériel, par exemple), adressez-vous au service après-vente Sony.

Emplacement et fonction des pièces et commandes

Avant

❶ **Objectif**

La caméra est dotée en standard d'un objectif varifocale.

❷ **Bague de mise au point**

Tournez cette bague vers N (near = près) pour effectuer la mise au point sur un sujet rapproché. Tournez-la vers ∞ (infini) pour effectuer la mise au point sur un sujet éloigné.

❸ **Bague de zoom**

Tournez cette bague vers T pour une prise de vues au téléobjectif ou vers W pour une prise de vues au grand-angle.

❹ **Bague de réglage du tirage mécanique**

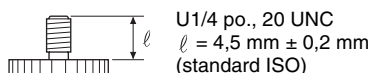
Utilisez cette bague pour régler le tirage mécanique (distance entre le plan de montage de l'objectif et le plan de l'image).

❺ **Connecteur d'objectif à diaphragme automatique**

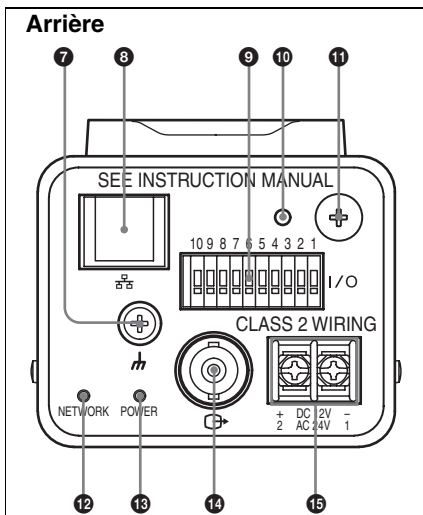
Le signal d'alimentation et commande est fourni à l'objectif à diaphragme automatique asservi CC lorsque le câble d'objectif est branché.

❻ **Adaptateur trépied**

L'adaptateur trépied a été monté au-dessus de la caméra (SNC-CS3N) ou au-dessous de la caméra (SNC-CS3P) en usine. Il est démontable et peut être fixé au-dessus ou au-dessous de la caméra. Utilisez cet adaptateur pour fixer la caméra à un trépied (filetage : 1/4 po., 20 UNC).
La vis de montage suivante peut être utilisée.

U1/4 po., 20 UNC
ℓ = 4,5 mm ± 0,2 mm
(standard ISO)

Attention

Utilisez une vis de montage avec une longueur de 4,5 mm ± 0,2 mm seulement. L'utilisation d'autre vis pourrait entraîner un montage incorrect et endommager des pièces à l'intérieur de la caméra.

Arrière

❼ Borne ⏚ (terre)

Cette borne permet de relier le châssis à la terre.

Remarque

Lorsque l'appareil est alimenté par un courant de 24 V CA ou 12 V CC, la consommation électrique maximale de l'appareil est de 8 W. Avant de brancher l'appareil, vérifiez la puissance maximale admissible.

❽ Port 品 (réseau)

Raccordez ce port à un concentrateur ou à un ordinateur sur le réseau 10BASE-T ou 100BASE-TX à l'aide d'un câble réseau (UTP, catégorie 5)

Attention

En cas d'utilisation d'un câble réseau local : par mesure de sécurité, ne raccordez pas ce port à un connecteur de câblage de périphérique susceptible de présenter une tension excessive.

❾ Port d'I/O (Entrée/Sortie)

Ce port comporte un port RS-232C, une entrée de capteur et deux sorties d'alarme.
Le port RS-232C permet de raccorder des périphériques à la caméra via l'interface RS-232C et de les commander depuis l'ordinateur ou d'en recevoir les données via le réseau.
L'entrée de capteur est utilisée comme entrée d'alarme. Le fonctionnement de la caméra peut être synchronisé avec une application de messagerie électronique ou autre.
La sortie d'alarme permet une commande de périphériques synchronisée avec l'entrée d'un capteur externe, la fonction embarquée de détection d'activité, le déclencheur manuel, ou la fonction de programmateur.

Pour plus d'informations sur les différentes fonctions et les paramétrages requis, voir le Guide de l'utilisateur sur le CD-ROM fourni.

Pour le brochage et le câblage, voir « Brochage et utilisation du port I/O (E/S) » à la page 21.

❿ Interrupteur de réinitialisation

Pour réinitialiser la caméra aux réglages d'usine, maintenez cet interrupteur enfoncé lors de la mise sous tension de la caméra.

⓫ Orifice pour la vis de montage du câble métallique

En cas d'installation de la caméra au plafond ou au mur, fixez le câble métallique fourni à cet orifice à l'aide de la vis épaulée fournie.

⓬ Témoin NETWORK (réseau) (orange/vert)

Ce témoin clignote en orange lorsque la caméra est connectée au réseau 10BASE-T ; il clignote en vert lorsqu'elle est connectée au réseau 100BASE-TX.
Le témoin s'éteint lorsque la caméra n'est pas connectée au réseau.

⓭ Témoin POWER (alimentation) (vert)

À la mise sous tension, la caméra vérifie le système. Si le système est normal, ce témoin s'allume.
Si une erreur système est détectée, ce témoin clignote toutes les secondes. Consultez alors votre revendeur Sony agréé.

⓮ Connecteur ⇨ (Sortie/vidéo)

Sortie du signal vidéo composite. Reccordez ce port au connecteur d'entrée vidéo composite d'un moniteur vidéo, magnétoscope, etc.

⓯ Borne DC 12 V/AC 24 V (entrée d'alimentation)

Raccordez cette borne à un système d'alimentation de 12 V CC ou 24 V CA.

Configuration système requise

Processeur

Pentium III 500 MHz ou plus puissant (Pentium 4, 1 GHz ou plus puissant recommandé)

Mémoire vive (RAM)

128 Mo ou plus

Système d'exploitation

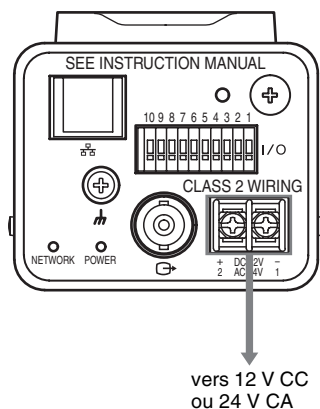
Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP

Navigateur Internet

Internet Explorer Ver. 5.5 ou Ver. 6.0

Alimentation à raccorder

Deux systèmes d'alimentation peuvent être utilisés pour cet appareil.
- 12 V CC
- 24 V CA

Raccordez un système d'alimentation de 12 V CC ou 24 V CA à la borne d'entrée d'alimentation de la caméra.

Source d'alimentation

Utilisez une source d'alimentation de 12 V CC ou 24 V CA isolée de l'alimentation de 100 à 240 V CA.
La plage des tensions utilisables est la suivante :
12 V CC : 10,8 à 13,2 V
24 V CA : 21,6 à 26,4 V

Utilisez le câble UL (VW-1 style 1007) pour la connexion 12 V CC ou 24 V CA.
Pour la source d'alimentation de 24 V CA, reliez la borne ⏚ à la terre.

Câble de caméra recommandé pour chaque source d'alimentation

12 V CC

Câble (AWG)	#24 (0,22 mm)	#22 (0,33 mm)	#20 (0,52 mm)	#18 (0,83 mm)
Longueur maximale de câble (m (pieds))	12 (39)	18 (59)	30 (99)	50 (164)

24 V CA

Câble (AWG)	#24 (0,22 mm)	#22 (0,33 mm)	#20 (0,52 mm)	#18 (0,83 mm)
Longueur maximale de câble (m (pieds))	35 (115)	60 (197)	100 (328)	150 (492)

Attribution d'une adresse IP à la caméra

Pour connecter la caméra à un réseau, vous devez lui attribuer une nouvelle adresse IP. Avant d'attribution d'une adresse IP, raccordez la caméra à un ordinateur ou à un réseau. Pour la connexion à l'ordinateur, utilisez un câble réseau en vente dans le commerce (câble croisé). Pour la connexion au réseau, utilisez un câble réseau en vente dans le commerce (câble droit).
Vous pouvez attribuer l'adresse IP de deux manières :

- **Utilisation du programme d'installation sur le CD-ROM fourni**

Pour plus d'informations sur les óperations, voir « Attribution de l'adresse IP à l'aide du programme d'installation » à la page 12.

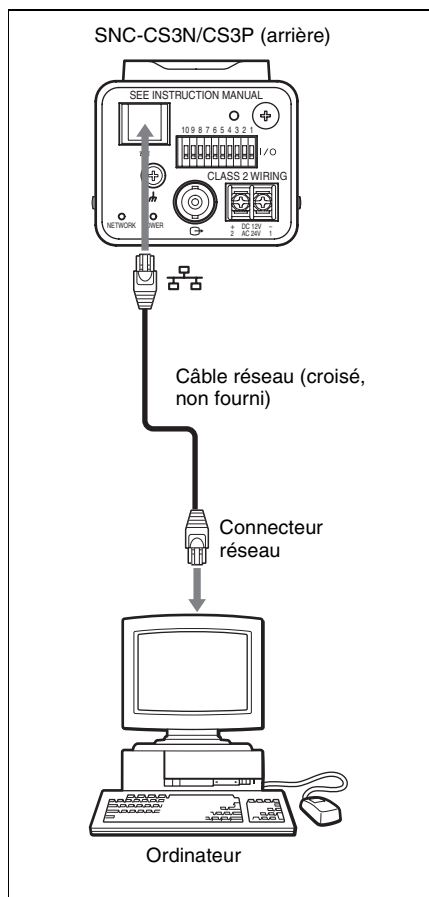
- **Utilisation des commandes ARP (Address Resolution Protocol)**

Ouvrez une fenêtre DOS sur l'ordinateur et saisissez les commandes ARP spécifiées.

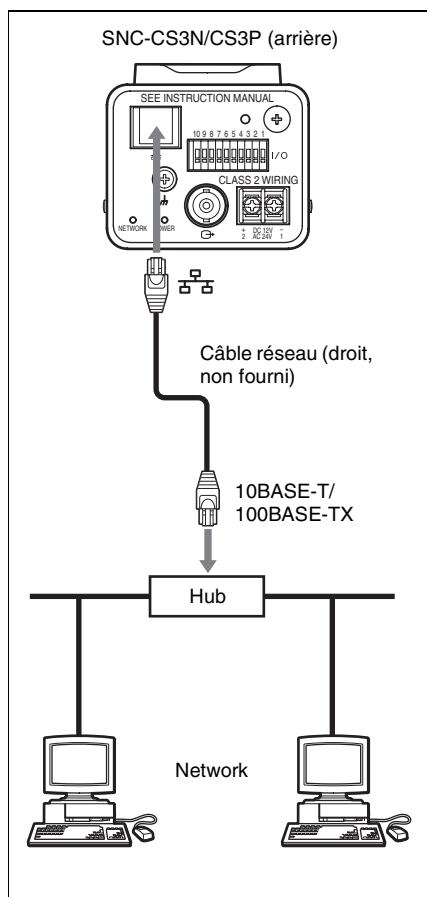
Pour plus d'informations sur les opérations, voir « Attribution d'une adresse IP à la caméra à l'aide des commandes ARP » dans le Guide de l'utilisateur sur le CD-ROM fourni.

Remarque

Pour déterminer l'adresse IP à attribuer à la caméra, consultez votre administrateur système.

Raccordement de la caméra à un ordinateur

1 **Raccordez le port 品 (réseau) de la caméra au connecteur réseau de l'ordinateur à l'aide d'un câble réseau (croisé) en vente dans le commerce.**

2 **Fournissez le courant à la caméra. (Voir page 9.)**

Raccordement de la caméra à un réseau local

1 **Raccordez le port 品 (réseau) à un concentrateur du réseau à l'aide d'un câble réseau en vente dans le commerce.**

2 **Fournissez le courant à la caméra. (Voir page 9.)**

Attribution de l’adresse IP à l’aide du programme d’installation

1 Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur CD-ROM.

2 Double-cliquez sur le dossier Setup sur le lecteur CD-ROM.

3 Double-cliquez sur Setup.exe.

4 Installez IP Setup Program sur l’ordinateur en suivant les instructions de l’assistant à l’écran.

Si le contrat de licence d’utilisation du logiciel s’affiche, lisez-le attentivement et acceptez-le pour pouvoir poursuivre l’installation.

5 Démarrez IP Setup Program.

Le programme détecte les caméras SNC-CS3 connectées sur le réseau local et en donne la liste dans la fenêtre de l’onglet Network (réseau).

6 Cliquez sur la caméra à laquelle vous désirez attribuer une nouvelle adresse IP sur la liste.

Les paramètres réseau pour la caméra sélectionnée s’affichent.

MAC address	IP address	Model	Serial No.	Version No.
08-00-46-7a-d6-39	192.168.0.100	SNC-CS3N	310277	1.04

7 Spécifiez l’adresse IP.

Pour obtenir automatiquement l’adresse IP depuis un serveur DHCP :

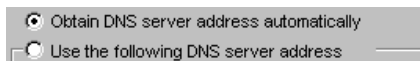
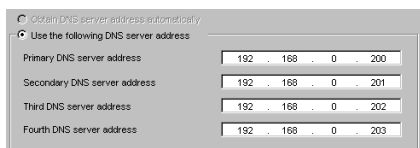
Sélectionnez **Obtain an IP address automatically (obtenir une adresse IP automatiquement)**.

IP address (l’adresse IP), Subnet mask (le masque de sous réseau) et Default gateway (la passerelle par défaut) sont attribués automatiquement.

Pour spécifier l’adresse IP manuellement :

Sélectionnez **Use the following IP address (utiliser l’adresse IP suivante)**, puis tapez IP address (l’adresse IP), Subnet mask (le masque de sous réseau) et Default gateway (la passerelle par défaut) dans les cases correspondantes.

8 Spécifiez primary DNS Server address (l’adresse du serveur DNS primaire) et, si nécessaire, secondary DNS server address (l’adresse du serveur DNS secondaire).

Pour obtenir les adresses de serveur DNS automatiquement :
Sélectionnez **Obtain DNS server address automatically**.

Pour spécifier les adresses de serveur DNS manuellement :
Sélectionnez **Use the following DNS server address**, puis tapez primary DNS server address (les valeurs de Primary DNS server address) et Secondary DNS address (Secondary DNS server address) dans chaque zone de texte.

Remarque

Les paramètres Third DNS server address et Fourth DNS server address ne peuvent pas être utilisés pour cette caméra.

9 Spécifiez HTTP port number (le numéro de port HTTP).

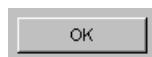
Sélectionnez normalement **80** pour le numéro de port HTTP. Pour utiliser un autre numéro de port, sélectionnez la zone de texte et tapez un nombre entre 1024 et 65535.

10 Tapez Administrator name et Administrator password.

Les valeurs par défaut de ces deux paramètres sont « admin ».

Remarque

Vous ne pouvez pas changer les paramètres Administrator name et Administrator password à ce stade. Pour changer ces paramètres, voir « Paramétrage des utilisateurs — Page User setting » dans le Guide de l'utilisateur sur le CD-ROM fourni.

11 Assurez-vous que tous les paramètres ont été correctement définis, puis cliquez sur OK.

L'adresse IP a été correctement attribuée si « Setting OK » (paramétrage correct) s'affiche.

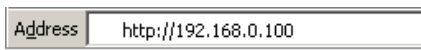
Accès à la caméra avec le navigateur Internet

Après l'attribution de l'adresse IP à la caméra, assurez-vous que vous pouvez accéder à la caméra avec le navigateur Internet installé sur votre ordinateur.
Utilisez Internet Explorer comme navigateur Internet.

Pour plus d'informations sur les opérations à l'aide du navigateur Internet, voir le Guide de l'utilisateur sur le CD-ROM fourni.

1 Démarrez le navigateur Internet sur l'ordinateur et saisissez l'adresse IP de la caméra dont vous désirez visualiser l'image dans la zone de l'URL.

Exemple :

Address http://192.168.0.100

La page d'accueil de la **Network Camera SNC-CS3** s'affiche.

2 Sélectionnez ActiveX viewer.

La page du visualiseur principal s'affiche et l'image de contrôle de la caméra s'affiche à l'écran.

Lorsque vous affichez l'image de contrôle de la caméra pour la première fois, l'avertissement de sécurité apparaît. Cliquez sur **Yes** et installez ActiveX Control.

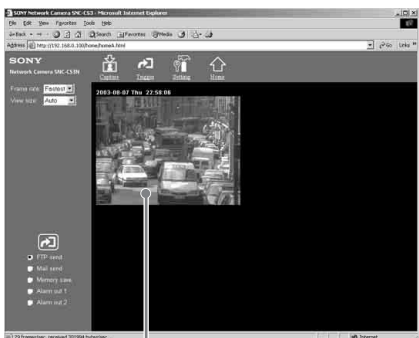



Image de contrôle

Attribution de l'adresse IP est maintenant terminée.
Procédez à « Installation de la caméra ».

Remarque

Pour que la page d'accueil puisse être utilisée correctement, réglez le niveau de sécurité d'Internet Explorer sur **Medium** ou plus bas en procédant comme suit :

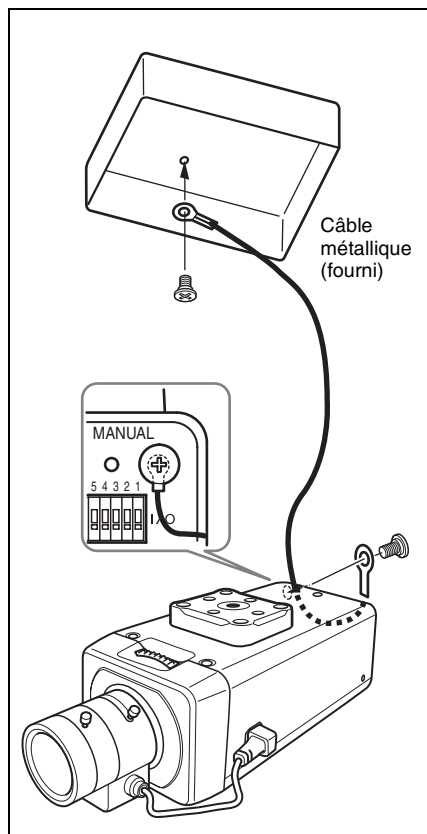
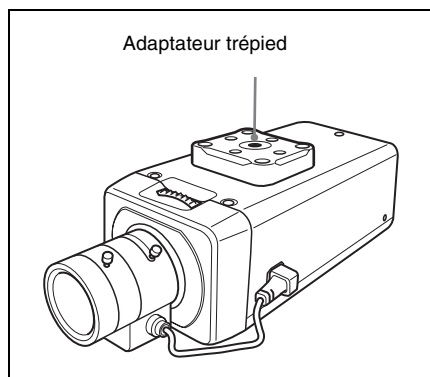
1. Sélectionnez **Tool** dans la barre de menus d'Internet Explorer, puis sélectionnez **Internet Options** et l'onglet **Security** dans cet ordre.
2. Cliquez sur l'icône **Internet** (si vous utilisez la caméra via Internet) ou l'icône **Local intranet** (si vous utilisez la caméra via un réseau local).
3. Placez le curseur de sélection sur **Medium** ou plus bas. (Si le curseur de sélection n'est pas affiché, cliquez sur **Default Level**.)

Remarques

- Pour pouvoir installer ActiveX viewer sous Windows NT4.0, Windows 2000 ou Windows XP, vous devez avoir ouvert une session sur l'ordinateur en tant qu'administrateur.
- Si vous ne pouvez pas afficher l'image sous Windows NT4.0 ou Windows 98, installez MFC42DLL Version Up Tool se trouvant sur le CD-ROM fourni.
- Si l'option Automatic configuration est activée dans Local Area Network (LAN) Settings d'Internet Explorer, il se peut que l'image ne s'affiche pas. Désactivez alors Automatic configuration et configurez le serveur Proxy manuellement. Pour configurer le serveur Proxy, consultez votre administrateur réseau.
- La page peut n'être pas affichée correctement si vous utilisez un logiciel antivirus sur votre ordinateur.

Installation de la caméra

Installation de la caméra

Lorsque vous installez un trépied ou boîtier sur la caméra, utilisez l'adaptateur trépied fixé à la caméra pour monter solidement la caméra.
L'adaptateur trépied a été monté au-dessus de la caméra en usine, mais vous pouvez le fixer au-dessous selon l'emplacement de la caméra.

Pour installer le câble anti-chute

Lorsque vous installez la caméra en hauteur (au plafond, par exemple), fixez-y impérativement le câble métallique anti-chute fourni.

1 Fixez le câble métallique à la zone (la boîte de jonction) au plafond.
Utilisez une vis adaptée à l'orifice de la boîte de jonction (non fournie).

2 Fixez le câble métallique à l'orifice à cet effet au dos de la caméra à l'aide de la vis épaulée fournie.

Précautions

Ce produit Sony a été conçu avec l'accent sur la sécurité. Notez, toutefois, que tout appareil électrique mal utilisé peut provoquer un incendie dans lequel on risque d'être gravement blessé.
Pour éviter de tels accidents, observez les précautions suivantes :

Respectez les précautions de sécurité

Observez impérativement les précautions de sécurité générales et les « Précautions d'utilisation ».

En cas de panne

En cas de panne, cessez l'utilisation et adressez-vous à votre revendeur Sony agréé.

En cas de fonctionnement anormal

- Si la caméra dégage de la fumée ou une odeur anormale,
- Si de l'eau ou des objets étrangers ont pénétré dans le boîtier,
- Si la caméra est tombée ou si son boîtier est endommagé :

1 Débranchez le câble de la caméra et les câbles de raccordement.

2 Adressez-vous à votre revendeur Sony agréé ou au magasin où vous avez acheté le produit.

Précautions d'utilisation

Lieu d'utilisation ou de rangement

Évitez d'utiliser ou de ranger la caméra dans les endroits suivants :

- endroits très chauds ou froids (température de fonctionnement : –10°C à +50°C (14°F à 122°F)
- endroits longuement exposés aux rayons directs du soleil ou à proximité d'un appareil de chauffage (radiateurs, par exemple)
- proximité de sources magnétiques puissantes
- proximité d'un rayonnement électromagnétique puissant (émetteurs de radio ou de télévision, par exemple)
- emplacements soumis à de fortes vibrations ou chocs

Ventilation

Pour empêcher une accumulation de chaleur, n'obstruez pas la circulation d'air autour de la caméra.

Transport

Transportez la caméra dans son emballage d'origine ou dans un emballage d'égale qualité.

Nettoyage

- Utilisez un pinceau soufflant pour enlever la poussière de l'objectif ou du filtre optique.
- Utilisez un chiffon doux et sec pour nettoyer l'extérieur de la caméra. Vous pouvez faire partir les taches persistantes en frottant avec un chiffon doux imbibé d'une petite quantité de solution détergente, puis en essuyant.
- N'utilisez pas de solvants volatils tels qu'alcool, benzène ou diluants. Ils pourraient endommager la finition.

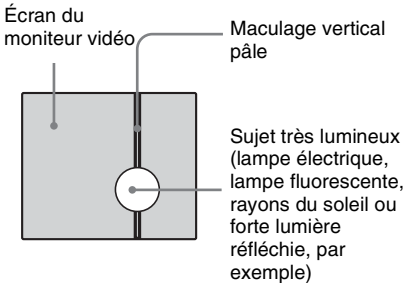
Remarque concernant les faisceaux laser

Les faisceaux laser peuvent endommager les capteurs CCD. Si vous prenez une scène comprenant un faisceau laser, veillez à ce que celui-ci ne frappe pas directement l'objectif de la caméra.

Phénomènes caractéristiques du CCD

Il se peut que vous constatiez les phénomènes ci-dessous sur l'écran du moniteur pendant l'utilisation d'une caméra vidéo couleur CCD. Ces phénomènes sont dus à la haute sensibilité des capteurs d'image CCD et ne sont pas le signe d'une anomalie de la caméra.

Maculage vertical

Des sujets très lumineux peuvent provoquer un « maculage vertical » mme sur la figure ci-dessous.

Ce phénomène est commun aux photosites des CCD à transfert d'interligne et se manifeste lorsque la charge électrique induite par le rayonnement infrarouge à l'intérieur du capteur photosensible est transférée aux résistances.

Crénelage

Lorsque vous filmez de fines rayures, des lignes droites ou des motifs similaires, les lignes peuvent apparaître légèrement « en escalier ».

Défauts d'aspect

Un capteur d'image CCD est constitué par une rangée d'éléments d'image individuels (pixels). Le dysfonctionnement d'un élément du capteur se manifeste par le palissement d'un pixel dans l'image. Ceci ne pose généralement pas de problème.

Mouchetures blanches

Lorsque vous filmez un sujet faiblement éclairé sous une température élevée, de petits points blancs peuvent apparaître sur toute la surface de l'image à l'écran.

Spécifications

Système/réseau

Processeur Processeur RISC 32 bits
Mémoire vive (RAM)
32 Mo
compris la mémoire d'image embarquée de 8 Mo environ
Mémoire flash 8 Mo
Système d'exploitation
Compatible µITRON 3.0
Protocole TCP/IP, ARP, ICMP, HTTP, FTP (serveur/client), SMTP (client), DHCP (client), DNC (client), NTP (client) SNMP (MIB-2)
Taille d'image **SNC-CS3N**
736 ×480 (Auto), 736 × 480 (Frame), 736 × 480 (Field), 640 × 480 (Auto), 640 × 480 (Frame), 640 × 480 (Field), 320 × 240, 160 × 120
SNC-CS3P
736 ×544 (Auto), 736 × 544 (Frame), 736 × 544 (Field), 640 × 480 (Auto), 640 × 480 (Frame), 640 × 480 (Field), 320 × 240, 160 × 120
Format de compression
Compatible ligne de base JPEG
Qualité d'image (taux de compression)
Environ 1/5 to 1/60 (10 niveaux)
Le taux de compression est basé sur une image de 24 bits/image (8 bits pour chacun de R, V et B).
Taux de trame **SNC-CS3N**
Max. 30 FPS (640 × 480)
SNC-CS3P
Max. 25 FPS (640 × 480)
Navigateur Internet
Internet Explorer Ver. 5.5 ou 6.0 (Système d'exploitation disponible : Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP)
Internet Explorer pour Pocket PC (Système d'exploitation disponible : Pocket PC 2002)
Environnements de l'ordinateur
Windows
Processeur : Pentium III 500 MHz ou plus puissant (Pentium 4, 1 GHz ou plus puissant recommandé)
Mémoire vive (RAM) : 128 Mo ou plus
Taille d'affichage : 1024 × 768, couleurs vraies (16,7 millions de couleurs) ou plus
Pocket PC
Processeur : Strong ARM 206 MHz ou plus puissant, ou processeur compatibles
Mémoire vive (RAM) : 64 Mo ou plus
Plug-in : Jeode[1] Ver.1.9.1
Accès utilisateur maximal um
50 utilisateurs
Sécurité réseau
Mot de passe (authentification de base), filtrage IP
Personnalisation de page d'accueil
Démarrage depuis une page d'accueil de la mémoire flash embarquée possible.
Autres fonctions
Détection d'activité, recadrage d'image, horloge embarquée, etc.

1) Jeode est une marque déposée ou une marque d'Insignia Solutions, Inc. aux États-Unis et dans d'autres pays.

Camera

Dispositif d'image
SNC-CS3N
CCD type 1/3 de transfert d'interligne (Exwave HAD™), 380 000 éléments d'image
SNC-CS3P
CCD type 1/3 de transfert d'interligne (Exwave HAD™), 440 000 éléments d'image
Pixels utiles
SNC-CS3N
768 (horizontalement) × 494 (verticalement)
SNC-CS3P
752 (horizontalement) × 582 (verticalement)
Monture d'objectif
Monture CS

Format de signal
SNC-CS3N : NTSC

SNC-CS3P : PAL
Balayage **SNC-CS3N**
525 lignes, entrelacement 2 : 1
SNC-CS3P
625 lignes, entrelacement 2 : 1
Synchronisation
Synchronisation interne
Résolution horizontale
480 lignes TV (vidéo analogique)
Rapport signal/bruit
50 dB (AGC Normal, Pondération activée)
(vidéo analogique)
Éclairage minimum
0,24 lux (30 IRE, AGC Turbo, F1.0)
0,5 lux (50 IRE, AGC Turbo, F1.0)
2,4 lux (100 IRE, AGC Turbo, F1.0)
AGC Commutable entre Normal (18 dB ou moins)/Turbo (24 dB ou moins)
Obturateur électronique
Commutable entre Désactivé/FL/CCD Iris (1/60 à 1/10 000)
Balance des blancs
Commutable entre Auto/Intérieur 1/Intérieur 2/Extérieur/One Push
Autres fonctions
Fonction de détection d'activité

Objectif (équipement standard)

Objectif Objectif varifocale
Tirage mécanique
3,0 à 8,0 mm
Nombre F F1.0 à F1.4
Angle de vue Horizontal 91,0º à 35,9°
Vertical 66,6º à 26,9°
Distance minimale du sujet
0,2 m

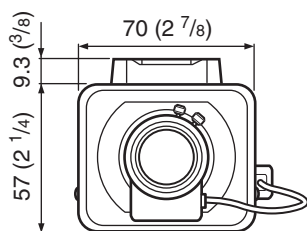
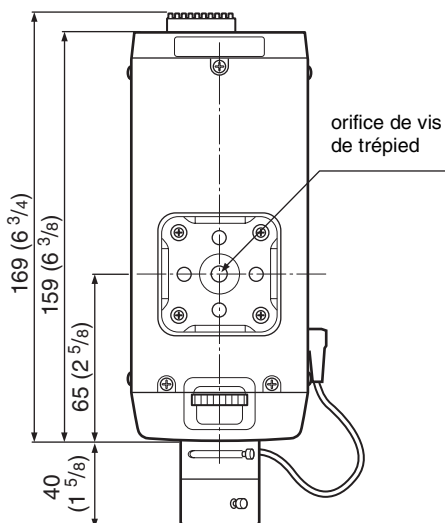
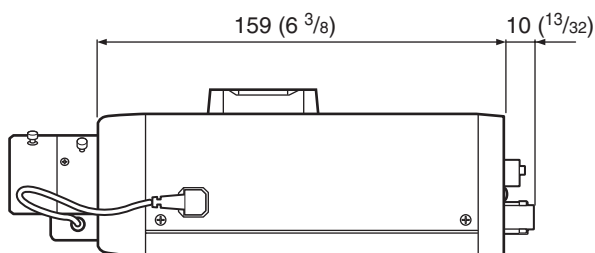
Interface

Port réseau 10BASE-T/100BASE-TX (RJ-45)
Port d'I/O (E/S)
Entrée de capteur : contact de fermeture
Sorties d'alarme 1 et 2 : 24 V CA/CC ou moins, 1 A
(sorties de relais mécanique électriquement isolées de la caméra)
Interface série
Interface RS-232C transparente
Connecteur d'objectif à diaphragme automatique
Asservi CC
Sortie vidéo VIDEO OUT : BNC, 1,0 Vp-p, 75 ohms, asymétrique, sync négative

Autres informations

Alimentation 24 V CA 50/60 Hz, 12 V CC
Consommation électrique
8 W max.
Température de fonctionnement
–10 °C à 50 °C (14 °F à 122 °F)
Storage temperature
–20 °C à 60 °C (–4 °F à 140 °F)
Humidité de fonctionnement
20 à 80 %
Humidité de stockage
20 à 95 %
Dimensions 70 × 57 × 159 mm (2 7/8 × 2 1/4 × 6 3/8 pouces)
pièces saillantes, objectif et adaptateur trépied non compris
Poids 650 g (1 lb 7 oz) environ
Accessoires fournis
CD-ROM (le programme d'installation et Guide de l'utilisateur) (1)
Câble métallique (1)
Vis épaulée M4 (1)
Manuel d'installation (ce document) (1)
Livret de garantie B&P (1) (SNC-CS3N) seulement)

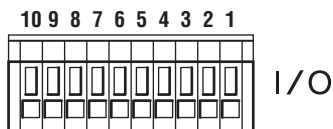
La conception et les spécifications sont susceptibles d'être modifiées sans préavis.

Remplacement régulier de pièces
Certaines pièces de ce produit (condensateur électrolytique, par exemple) doivent être remplacées régulièrement car leur durée de service est limitée.
La durée de service des pièces diffère selon l'environnement ou les conditions d'utilisation du produit et la durée d'utilisation. Aussi, recommandons-nous d'effectuer des vérifications régulières. Pour plus d'informations, consultez votre revendeur.

Dimensions

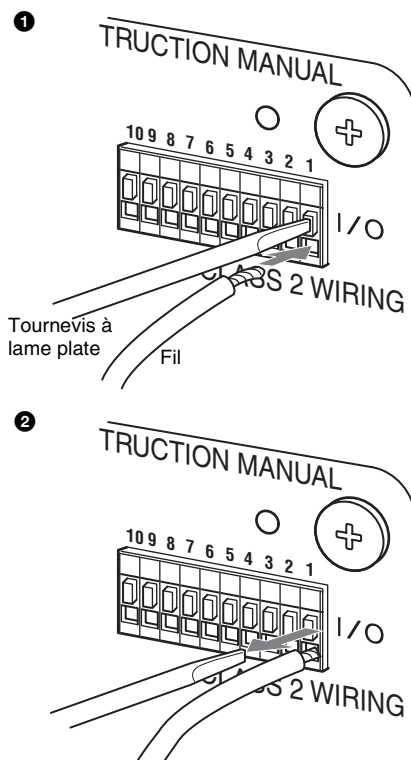
Remarque

Les illustrations ci-dessus sont celles de la SNC-CS3N.
Pour la SNC-CS3P, l'adaptateur trépied a été monté au-dessous de la caméra en usine.

Brochage et utilisation du port I/O (E/S)

Brochage du port I/O (E/S)

N° de broche	Nom de broche
1	Entrée capteur 1 –
2	Non connecté
3	Sortie alarme 1 –
4	Sortie alarme 1 +
5	Sortie alarme 2 –
6	Sortie alarme 2 +
7	GND
8	GND (RS-232C)
9	RXD (RS-232C)
10	TXD (RS-232C)

Utilisation de la prise d'I/O (E/S)

Tout en appuyant sur le bouton de la fente où vous désirez connecter le fil (AWG No. 28 à 22) avec un petit tournevis à lame plate, insérez le fil. Relâchez ensuite le tournevis du bouton.

Répétez cette opération pour connecter tous les fils nécessaires.

Autres informations

Schéma de câblage pour l'entrée de capteur

Contacteur mécanique/dispositif de sortie à collecteur ouvert

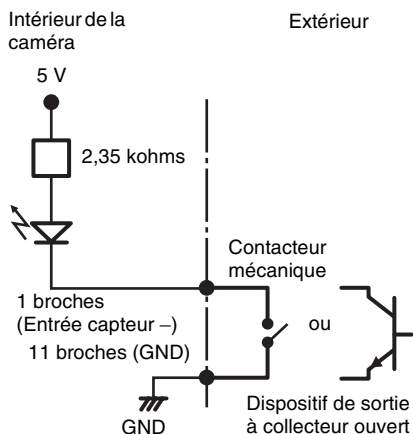
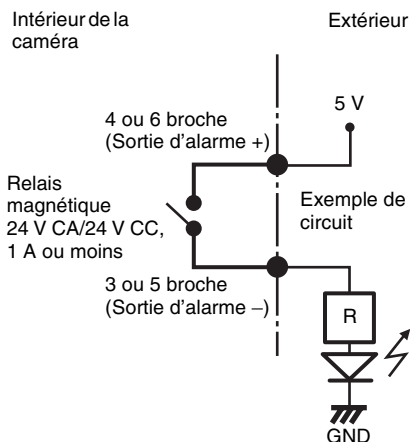
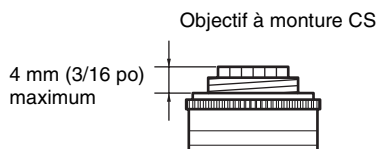



Schéma de câblage pour la sortie d'alarme

Montage d'un objectif à monture CS

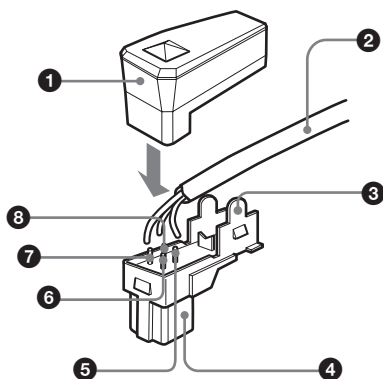
Vous pouvez utiliser un objectif à monture CS autre que celui fourni avec cette caméra.

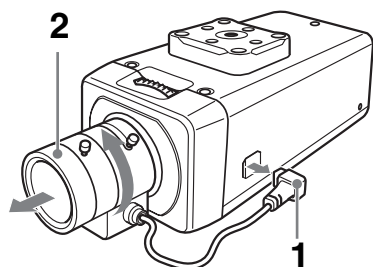
Objectif approprié

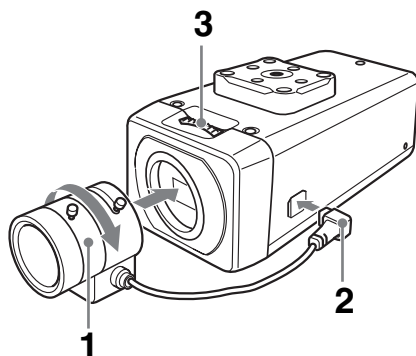
L'objectif doit être à monture CS et peser moins de 1kg (2 lb 4 oz). La saillie derrière la surface de montage ne doit pas dépasser 4 mm (3/16 po).

Objectif à diaphragme automatique

Vous pouvez utiliser un objectif à diaphragme automatique asservi CC avec cet appareil.
Avant de connecter l'objectif à diaphragme automatique, remplacez la fiche du câble d'objectif par une fiche adaptée au connecteur LENS (non fournie).

1. Retirez l'ancienne fiche du câble d'objectif.
2. Soudez les fils du câble d'objectif aux broches de la fiche.

   Pour le brochage, voir le mode d'emploi de l'objectif.

❶	Cache
❷	Câble d'objectif
❸	Nervure (Si le câble est épais, la couper.)
❹	Fiche (non fournie)
❺	Broche 4 : Entraînement – (Masse)
❻	Broche 2 : Commande +
❼	Broche 1 : Commande –
❽	Broche 3 : Entraînement +

Démontage de l'objectif

Débranchez le câble d'objectif du connecteur LENS.
Tournez l'objectif dans le sens inverse des aiguilles d'une montre pour le retirer de la caméra.

Montage de l'objectif

1 Alignez l'objectif sur la monture d'objectif de la caméra et tournez-le dans le sens des aiguilles d'une montre jusqu'à ce qu'il soit solidement fixé.

2 Introduisez la fiche du câble d'objectif dans le connecteur LENS.
Si l'objectif est à diaphragme manuel, sautez l'étape 2.

3 Si vous ne parvenez pas à régler correctement la mise au point sur ∞ (infini), réglez le tirage mécanique en tournant la bague de réglage du tirage mécanique.

ADVERTENCIA

Para evitar el riesgo de incendio o electrocución, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar recibir descargas eléctricas, no abra el aparato. Contrate exclusivamente los servicios de personal cualificado.

Suministro de energía

Precauciones para EE.UU. y Canadá

La SNC-CS3N funciona a 24V CA o 12V CC.
La SNC-CS3N detecta automáticamente la alimentación.
Utilice una fuente de energía Clase 2 que aparezca en la Lista UL (en EE.UU.) o que tenga la certificación CSA (en Canadá).

Precauciones para otros países

La SNC-CS3P funciona a 24V CA, 12V CC.
La SNC-CS3P detecta automáticamente la alimentación.
Utilice una fuente de energía que cumpla la legislación de seguridad del país donde se utilice.

Índice

Introducción

Instalación y conexiones básicas

Otros

ES

- El sistema de cámara de red y el servicio relacionado no constituyen un servicio de seguridad. Al monitorizar las imágenes y el audio de la Cámara de red que ha adquirido, existe el riesgo de que las imágenes o el audio monitorizado sean vistos o utilizados por terceros a través de la red. Se proporciona sólo para que las personas accedan de forma cómoda y sencilla a sus cámaras a través de Internet.
  Cuando utilice la Cámara de red Ud. deberá cumplir con las restricciones previstas en la legislación aplicable en relación con los derechos de imagen, honor e intimidad de los sujetos afectados y los derechos de propiedad intelectual de los contenidos difundidos.
- El acceso a la cámara o al sistema está limitado al usuario que configura un nombre de usuario y una contraseña. No se ofrece ninguna otra autentificación, y el usuario no debe asumir que el servicio realiza tal filtrado.
- Sony no asume ninguna responsabilidad si el servicio relacionado con la cámara de red se detiene o se interrumpe por cualquier razón.

Características

Monitorización de alta calidad a través de la red

Puede monitorizar una imagen real de alta calidad, procedente de la cámara, a través del explorador Web de un ordenador conectado a una red 10BASE-T o 100BASE-TX. La frecuencia máxima de cuadros es de 30 FPS para la SNC-CS3N y de 25 FPS para la SNC-CS3P.
En un momento dado, puede haber hasta 50 usuarios viendo la imagen procedente de una sola cámara.

Exploradores Web disponibles

Microsoft Internet Explorer Ver. 5.5 ó 6.0 (S.O. disponibles: Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP)

Alta sensibilidad y calidad de imagen superior

El CCD Exwave HAD™ de tipo 1/3 ofrece una calidad de imagen superior: alta resolución horizontal, alta sensibilidad, una excelente relación señal-ruido y un bajo nivel de borrosidad.

Grabación de imagen en la memoria incorporada

Puede grabar imágenes estáticas procedentes de la cámara en la memoria incorporada de la cámara (unos 8 MB).
Puede grabar una imagen estática en un momento determinado, disparada por la entrada del sensor externo, la función de detección de actividad incorporada o el botón de disparo manual, o bien puede grabar una secuencia de imágenes estáticas durante un periodo determinado, antes y después del disparo. También es posible grabar imágenes estáticas periódicamente.

Transmisión de imágenes mediante correo electrónico o un servidor de FTP

Es posible enviar una imagen estática procedente de la cámara como adjunto de un mensaje de correo electrónico, o enviarla a un servidor FTP, en un momento determinado por la entrada del sensor externo, por la función de detección de actividad incorporada o por el botón de disparo manual. También es posible enviar a un servidor FTP una secuencia de imágenes estáticas durante un periodo de tiempo determinado, antes y después del disparo, o enviarlas periódicamente.
Si utiliza el software cliente FTP del ordenador, también puede buscar y recibir imágenes estáticas grabadas en la memoria incorporada.

Salida de alarma

La cámara está equipada con dos conjuntos de salidas de alarma. Puede utilizarlas para controlar dispositivos periféricos mediante la sincronización con las entradas del sensor externo, la función de detección de actividad incorporada, el botón de disparo manual, la función Day/Night o el temporizador.

Interfaz RS-232C de tipo transparente

Si conecta dispositivos periféricos a la cámara a través de la interfaz RS-232C, puede controlar los dispositivos desde el ordenador, a través de la red, y recibir datos procedentes de estos dispositivos.

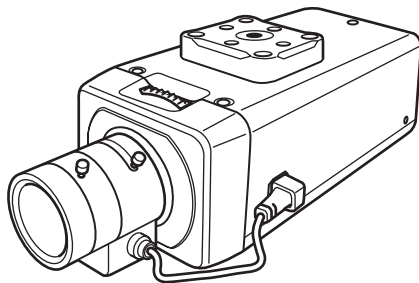
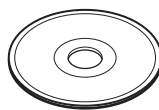
Salida de vídeo analógico

La salida de vídeo analógico permite conectar una grabadora de vídeo o un monitor de TV para grabar o monitorizar la imagen de forma local.

- Microsoft, Windows, Internet Explorer y MS-DOS son marcas comerciales registradas de Microsoft Corporation en los Estados Unidos y en otros países.
- Exwave HAD™: Exwave Hole-Accumulated Diode
  "Exwave HAD™" es una marca comercial de Sony Corporation.
- CCD: Charge-Coupled Device (Dispositivo acoplado por carga)

Accesorios que se suministran

Cuando abra el paquete, compruebe que incluye todos los accesorios que se suministran.

Cámara (1)

CD-ROM (incluye el programa de configuración y la guía del usuario) (1)

Cable (1)

Tornillo con pivote M4 (1)

Manual de instalación (este documento) (1)

Folleto de garantía B&P (1) (SNC-CS3N solamente)

Acerca de los manuales que se suministran

Nombres de los manuales

Con esta unidad se suministran los manuales siguientes.

Manual de instalación (este documento)

El Manual de instalación describe los nombres y las funciones de las partes de la cámara, la instalación y las conexiones de la cámara, etc. No olvide leerlo antes de hacer funcionar la cámara.

Guía del usuario (almacenada en el CD-ROM)

La Guía del usuario describe la configuración de la cámara y las operaciones desde el explorador Web.

Para abrir la Guía del usuario, vea “Usar los manuales del CD-ROM” más adelante.

Usar los manuales del CD-ROM

El disco CD-ROM que se suministra incluye las Guías del usuario para los modelos SNC-CS3N/CS3P (versiones en japonés, inglés, francés, alemán, español, italiano y chino).

Requisitos del sistema del CD-ROM

Para tener acceso al disco CD-ROM que se suministra, se necesita lo siguiente.

- Ordenador: PC con Intel Pentium CPU
  Memoria instalada: 64 MB o más
  Unidad de CD-ROM: × 8 o más rápida
- Monitor: monitor compatible con una resolución de 800 × 600 o superior
- Sistema operativo: Microsoft Windows Millennium Edition, Windows 2000 Service Pack 2, Windows XP Professional o Home Edition

Si no se cumplen estos requisitos, es posible que el acceso al disco CD-ROM sea lento, o que no sea posible en absoluto.

Preparativos

Para utilizar la Guía del usuario que contiene el disco CD-ROM, debe estar instalado en el ordenador Adobe Acrobat Reader Versión 4.0 o posterior o Adobe Reader Versión 6.0 o posterior.

Nota

Si no está instalado Adobe Acrobat Reader o Adobe Reader, puede descargarlo de la siguiente dirección URL:

http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html

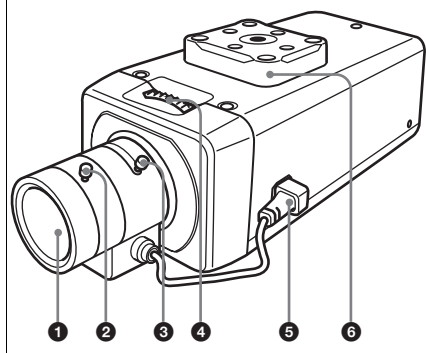
Leer el manual del CD-ROM

Para leer la Guía del usuario que contiene el disco CD-ROM, haga lo siguiente.

1. Inserte en la unidad de CD-ROM el disco CD-ROM que se suministra.
2. Haga doble clic en la carpeta Manual.
3. Haga doble clic en la versión que desea leer.
   Se abrirá un archivo PDF de la Guía del usuario.

Nota

Si pierde el disco CD-ROM o no puede leer ya su contenido, por ejemplo debido a una avería de hardware, póngase en contacto con un representante del servicio técnico de Sony.

Ubicación y función de las partes y controles

1 Objetivo
Como equipo estándar, se monta un objetivo de distancia focal variable.

2 Anillo de enfoque
Gire este anillo hacia el extremo N (cerca) para enfocar objetos más cercanos. Gírelo hacia ∞ (infinito) para enfocar objetos más lejanos.

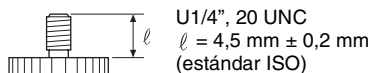
3 Anillo de zoom
Gire este anillo hacia T para teleobjetivo o hacia W para gran angular.

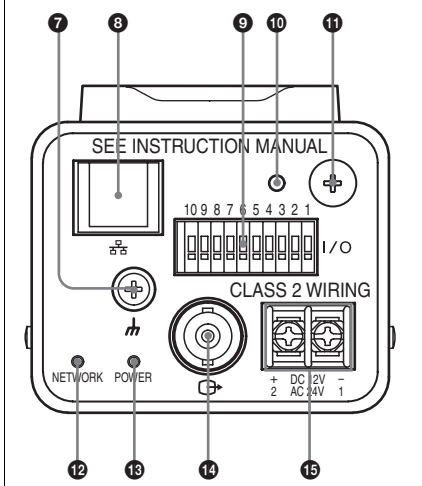
4 Anillo de ajuste de la longitud focal
Utilice este anillo para ajustar la longitud focal (la distancia entre el plano de montaje del objetivo y el plano de la imagen).

5 Conexión del objetivo al diafragma automático
Este cable transmite la alimentación y la señal de control del objetivo a un diafragma automático de tipo servo CC.

6 Adaptador de trípode
El adaptador de trípode se monta en fábrica en la parte superior de la cámara (SNC-CS3N) o en la parte inferior (SNC-CS3P). Dado que es desmontable, es posible montarlo en la parte superior de la cámara o en la inferior.

Utilice este adaptador para instalar la cámara en un trípode (tornillo: 1/4", 20 UNC).
Puede utilizar el siguiente tornillo de montaje.

U1/4", 20 UNC
ℓ = 4,5 mm ± 0,2 mm
(estándar ISO)

Precaución

Utilice sólo el tornillo de montaje cuya longitud es de 4,5 mm ± 0,2 mm. El uso de otros tornillos puede causar un montaje incorrecto y daños a las piezas del interior de la cámara.

❼ Terminal ⏚ (tierra)

Es un terminal de tierra para el chasis.

Nota

Cuando se suministra 24 V CA o 12 V CC a la unidad, el consumo máximo de energía de la unidad es de 8 W. Cuando conecte la unidad, compruebe la alimentación máxima admisible.

❽ Puerto 品 (red)

Conéctelo a un concentrador o un ordenador de la red 10BASE-T o 100BASE-TX mediante un cable de red (UTP, categoría 5).

Precaución

Cuando utilice un cable LAN: Por razones de seguridad, no conecte a la conexión de dispositivos periféricos cables que puedan tener una tensión excesiva.

❾ Puerto de I/O (Entrada/Salida)

Este puerto está equipado con un puerto RS-232C, una entrada de sensor y dos salidas de alarma.
El puerto RS-232C se utiliza cuando se conectan dispositivos periféricos a la cámara mediante la interfaz RS-232C, y controla los dispositivos desde el ordenador o recibe datos de los dispositivos a través de la red.
La entrada de sensor se utiliza como entrada de alarma. El funcionamiento de la cámara puede sincronizarse mediante correo electrónico u otras aplicaciones.
La salida de alarma se utiliza para controlar los dispositivos periféricos conectados mediante la sincronización con la entrada de un sensor externo, la función de detección de actividad incorporada, un botón de disparo manual, o la función de temporizador.

Para obtener información detallada sobre cada función y sobre las configuraciones necesarias, consulte la Guía del usuario almacenada en el CD-ROM que se suministra.

Para ver la asignación de pines y el cableado, consulte "Asignación de pines y uso del puerto I/O" en la página 21.

❿ Interruptor de reinicio

Para reiniciar la cámara a las configuraciones predeterminadas de fábrica, mantenga presionado este interruptor y suministre energía a la cámara.

⓫ Orificio para el tornillo de montaje del cable

Cuando instale la cámara en el techo o en la pared, sujete el cable que se suministra a este orificio, mediante el tornillo con pivote suministrado.

⓬ Indicador NETWORK (naranja/verde)

El indicador parpadea en naranja cuando la cámara está conectada a la red 10BASE-T; parpadea en verde cuando la cámara está conectada a la red 100BASE-TX.
El indicador se apaga cuando la cámara no está conectada a la red.

⓭ Indicador POWER (verde)

Cuando se suministra energía a la cámara, ésta inicia la comprobación del sistema. Si el sistema es normal, se ilumina este indicador.
Si se produce un error en el sistema, el indicador parpadea cada segundo. En este caso, consulte con el distribuidor autorizado de Sony.

⓮ Conexión ⊖ (salida de vídeo) (tipo BNC)

Ofrece una señal de vídeo compuesto. Conéctelo a la conexión de entrada de vídeo compuesto de un monitor de vídeo, una grabadora de vídeo, etc.

⓯ Terminal DC 12 V/AC 24 V (entrada de alimentación)

Conéctelo a un sistema de suministro de energía de 12V CC o 24V CA.

Requisitos del sistema

Procesador

Pentium III 500 MHz o superior (se recomienda Pentium 4, 1 GHz o superior)

RAM

128 MB o más

S.O.

Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP

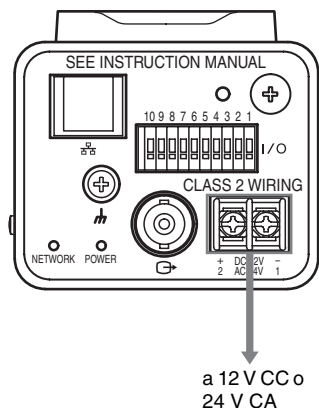
Explorador Web

Internet Explorer Ver. 5.5 o Ver. 6.0

Conexión de la alimentación

Para esta unidad se proporcionan dos sistemas de suministro de energía.

- 12 V CC
- 24 V CA

Conecte el sistema de suministro de energía de 12 V CC o 24 V CA al terminal de entrada de energía de la cámara.

Acerca de la fuente de alimentación

Utilice una fuente de alimentación de 12 V CC o 24 V CA aislada de la CA de 100 a 240 V.
El intervalo de tensiones utilizables es el siguiente:
12 V CC: 10,8 a 13,2 V
24 V CA: 21,6 a 26,4 V

Utilice el cable UL (estilo VW-1 1007) para la conexión de 12 V CC o 24 V CA.
Para la fuente de alimentación de 24 V CA, conecte el terminal ⏚ a tierra.

Cable de cámara recomendado para cada fuente de alimentación

12 V CC

Cable (AWG)	#24 (0,22 mm)	#22 (0,33 mm)	#20 (0,52 mm)	#18 (0,83 mm)
Longitud máxima del cable (m (pies))	12 (39)	18 (59)	30 (99)	50 (164)

24 V CA

Cable (AWG)	#24 (0,22 mm)	#22 (0,33 mm)	#20 (0,52 mm)	#18 (0,83 mm)
Longitud máxima del cable (m (pies))	35 (115)	60 (197)	100 (328)	150 (492)

Asignar direcciones IP a la cámara

Para conectar la cámara a una red, deberá asignar una nueva dirección IP a la cámara. Antes de asignar la dirección IP, conecte la cámara a un ordenador o a una red. Para conectarla al ordenador, utilice un cable de red comercial (cable cruzado). Para conectarla a la red, utilice un cable de red comercial (cable recto).
Hay dos maneras de asignar la dirección IP:

- **Utilizando el programa de configuración almacenado en el CD-ROM que se suministra**

Para obtener información detallada sobre las operaciones, consulte "Asignar la dirección IP mediante el programa de configuración" en la página 12.

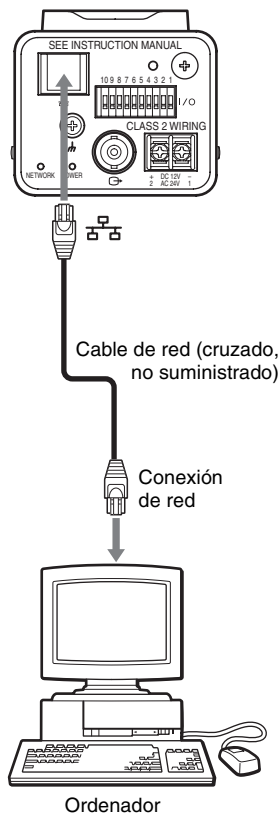
- **Utilizando los comandos ARP (Address Resolution Protocol, Protocolo de resolución de direcciones)**

Abra la ventana de DOS en el ordenador y escriba los comandos ARP especificados.

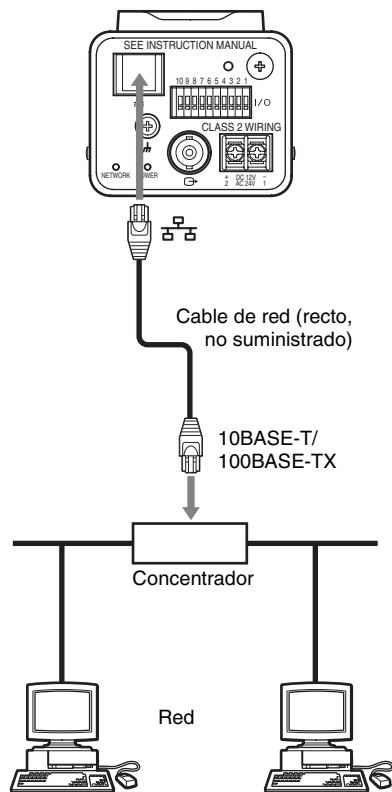
Para ver información detallada sobre las operaciones, consulte "Asignar la dirección IP a la cámara mediante comandos ARP", en la Guía del usuario almacenada en el CD-ROM que se suministra.

Nota

Para determinar la dirección IP que se asignará a la cámara, consulte con el administrador del sistema.

Conectar la cámara a un ordenador

1 **Utilizando un cable de red comercial (cruzado), conecte el puerto (red) de la cámara a la conexión de red de un ordenador.**

2 **Suministre energía a la cámara. (Consulte página 9.)**

Conectar la cámara a una red local

1 **Utilizando un cable de red comercial, conecte el puerto (red) a un concentrador de la red.**

2 **Suministre energía a la cámara. (Consulte página 9.)**

Asignar la dirección IP mediante el programa de configuración

1 Inserte en la unidad de CD-ROM el disco CD-ROM que se suministra.

2 Haga doble clic en la carpeta Setup de la unidad de CD-ROM.

3 Haga doble clic en Setup.exe.

4 Instale el IP Setup Program en el ordenador siguiendo las indicaciones del asistente.

Si se muestra el Contrato de licencia de software, léalo detenidamente y acéptelo para continuar la instalación.

5 Inicie el IP Setup Program.

El programa detecta las cámaras SNC-CS3 conectadas a la red local y las muestra en una lista en la ventana de la ficha Network (Red).

6 Haga clic, en la lista, en la cámara a la que desea asignar una nueva dirección IP.

MAC address	IP address	Model	Serial No.	Version No.
08-00-46-7a-d6-39	192.168.0.100	SNC-CS3N	310277	1.04

Se mostrará la configuración de red de la cámara seleccionada.

7 Establezca la dirección IP.

Para obtener la dirección IP automáticamente desde un servidor DHCP:

Seleccione **Obtain an IP address automatically (Obtener una dirección IP automáticamente)**.

Obtain an IP address automatically
Use the following IP address

Se asignará automáticamente IP address (dirección IP), Subnet mask (máscara de subred) y Default gateway (puerta de acceso predeterminada).

Para especificar manualmente la dirección IP:

Seleccione **Use the following IP address (Usar la siguiente dirección IP)** y escriba IP address (dirección IP), Subnet mask (máscara de subred) y Default gateway (puerta de acceso predeterminada) en cada uno de los cuadros.

8 **Establezca la primary DNS Server address (dirección del servidor DNS principal) y, si es necesario, la secondary DNS Server address (dirección del servidor DNS secundario).**

Para obtener las direcciones del servidor DNS automáticamente:
Seleccione **Obtain DNS server address automatically (Obtener servidor DNS automáticamente)**.

Obtain DNS server address automatically
Use the following DNS server address

Para especificar manualmente las direcciones del servidor DNS:
Seleccione **Use the following DNS server address (Usar el siguiente servidor DNS)** y escriba la primary DNS Server address (dirección del servidor DNS principal) y la secondary DNS Server address (dirección del servidor DNS secundario) en cada uno de los cuadros.

Nota

Las direcciones del tercer servidor DNS y del cuarto servidor DNS no son válidas para esta cámara.

9 **Establezca el HTTP port number (número de puerto HTTP).**

Normalmente, seleccione **80** como número de puerto HTTP. Para utilizar otro número de puerto, seleccione el cuadro de texto y escriba un número de puerto entre 1024 y 65535.

10 **Escriba los valores de Administrator name y Administrator password (nombre y contraseña del Administrador).**

Administrator name: admin
Administrator password: *****

Las configuraciones predeterminadas para ambos elementos son “admin”.

Nota

En este paso, no es posible cambiar el nombre ni la contraseña del administrador. Para cambiar estos elementos, consulte “Configurar el usuario - Página User setting” en la Guía del usuario, almacenada en el CD-ROM que se suministra.

11 **Confirme que todos los elementos están establecidos correctamente y, a continuación, haga clic en “OK”.**

Si se muestra “Setting OK” (“Configuración correcta”), la dirección IP está configurada correctamente.

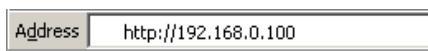
Acceso a la cámara mediante el explorador Web

Una vez asignada una dirección IP a la cámara, compruebe que realmente puede tener acceso a ella mediante el explorador Web instalado en el ordenador.
Utilice Internet Explorer como explorador de Web.

Para obtener información detallada sobre las operaciones del explorador Web, consulte la Guía del usuario almacenada en el CD-ROM que se suministra.

1 Inicie el explorador Web en el ordenador y escriba la dirección IP de la cámara en el cuadro URL.

Ejemplo:

Address http://192.168.0.100

Se mostrará la página de bienvenida de **Network Camera SNC-CS3**.

2 Haga clic en el ActiveX viewer.

Se mostrará la página principal del visor, y aparecerá en la pantalla la imagen de monitor procedente de la cámara.

Cuando muestre por primera vez la imagen del monitor procedente de la cámara, aparecerá la Advertencia de seguridad. Haga clic en **Yes** e instale el ActiveX Control.

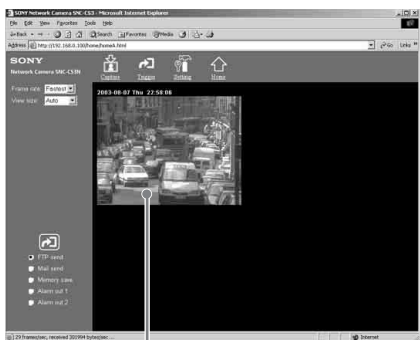



Imagen de monitor

La asignación de dirección IP está completa. Pase a “Instalar la cámara”.

Nota

Para que la página de bienvenida funcione correctamente, establezca el nivel de seguridad de Internet Explorer en **Medium** o un nivel inferior, de la manera siguiente:

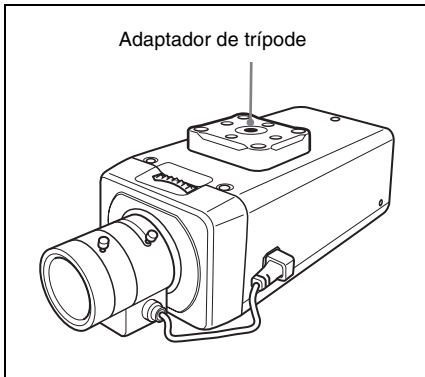
1. Seleccione **Tool** en la barra de menús de Internet Explorer; a continuación, seleccione **Internet Options** y la ficha **Security**.
2. Haga clic en el icono **Internet** (cuando utilice la cámara a través de Internet) o en el icono **Local intranet** (cuando utilice la cámara a través de una red local).
3. Establezca el control deslizante en **Medium** o en un nivel inferior. (Si no se muestra el control deslizante, haga clic en **Default Level**.)

Notas

- Para instalar el visor ActiveX en Windows NT 4.0, Windows 2000 o Windows XP, deberá haber iniciado la sesión en el ordenador como Administrador.
- Si no puede mostrar la imagen en Windows NT4.0 o Windows 98, instale MFC42DLL Version Up Tool, que se encuentra almacenado en el CD-ROM que se suministra.
- Si está habilitada la opción Automatic configuration en la Configuración de la red de área local (LAN) de Internet Explorer, es posible que no se muestre la imagen. En este caso, deshabilite Automatic configuration y establezca manualmente el servidor Proxy. Para establecer el servidor Proxy, consulte con el administrador de la red.
- Es posible que la página no se muestre correctamente si se utiliza software antivirus en el ordenador.

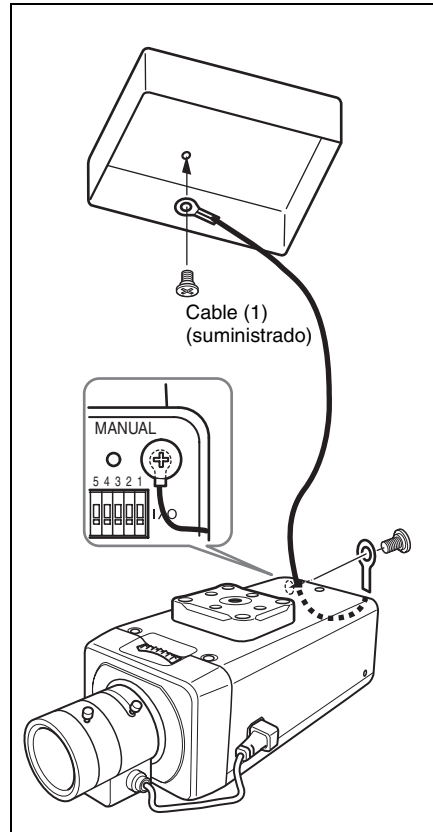
Instalar la Cámara

Instalar la cámara

Cuando instale un trípode o caja protectora con la cámara, utilice el adaptador de trípode colocado en la cámara para sujetar completamente la cámara.
Aunque el adaptador de trípode se monta en fábrica en la parte superior de la cámara, es posible montarlo en la parte inferior, de acuerdo con la ubicación de la cámara.

Para instalar el cable de seguridad frente a caídas

Cuando instale la cámara en una posición superior, como por ejemplo en el techo, no olvide instalar en la cámara el cable de seguridad frente a caídas.

1 Sujete el cable a la caja de empalmes del techo.
Utilice un tornillo que se ajuste al orificio de la caja de empalmes (no suministrado).

2 Sujete el cable al orificio del tornillo de montaje del cable, que se encuentra en la parte posterior de la cámara, utilizando el tornillo con pivote que se suministra.

Precauciones

Este producto Sony ha sido diseñado pensando en la seguridad. Sin embargo, si no se utilizan correctamente, los productos eléctricos pueden provocar incendios, que pueden producir lesiones corporales graves. Para evitar tales accidentes, tenga en cuenta lo siguiente.

Tenga presentes las precauciones de seguridad

No olvide seguir las precauciones generales de seguridad y las “Precauciones de uso”.

En caso de avería

Si el sistema se avería, deje de utilizarlo y póngase en contacto con el distribuidor autorizado de Sony.

En caso de funcionamiento anormal

- Si la unidad emite humo o algún olor extraño,
- Si entra en la carcasa agua o algún objeto extraño, o
- Si deja caer la unidad o daña la carcasa:

1 Desconecte el cable de la cámara y los cables de conexión.

2 Póngase en contacto con el distribuidor Sony autorizado o con el comercio donde adquirió el producto.

Precauciones de uso

Lugar de funcionamiento o almacenamiento

Evite utilizar o almacenar la cámara en los lugares siguientes:

- Lugares extremadamente calientes o fríos (Temperatura de funcionamiento: –10°C to +50°C [14°F to 122°F])
- Lugares expuestos a la luz directa del sol durante mucho tiempo, o cerca de equipos de calefacción (p.e., cerca de radiadores)
- Cerca de fuentes intensas de magnetismo
- Cerca de fuentes potentes de radiación electromagnética, tales como radios o transmisores de TV
- Lugares sometidos a fuertes vibraciones o sacudidas

Ventilación

Para evitar el recalentamiento, no bloquee la circulación de aire alrededor de la cámara.

Transporte

Cuando transporte la cámara, empaquétela como se empaquetó originalmente en la fábrica, o con materiales de igual calidad.

Limpieza

- Utilice un soplador para eliminar el polvo del objetivo o del filtro óptico.
- Utilice un paño suave y seco para limpiar las superficies externas de la cámara. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño suave humedecido con una pequeña cantidad de solución detergente; a continuación, seque la cámara.
- No utilice disolventes volátiles tales como alcohol, benceno o diluyente, ya que pueden dañar el acabado de las superficies.

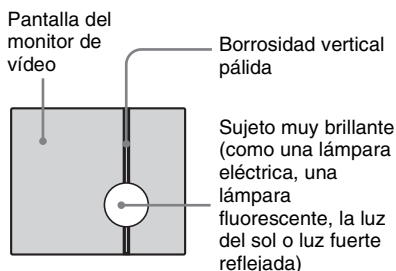
Notas sobre los rayos láser

Los rayos láser pueden dañar los CCD. Si graba una escena que incluya un rayo láser, tenga cuidado de evitar que el rayo láser se dirija al objetivo de la cámara.

Fenómenos típicos de los CCD

Mientras se utiliza una cámara de vídeo en color CCD, en la pantalla del monitor pueden aparecer los siguientes fenómenos. Estos fenómenos tienen su origen en la elevada sensibilidad de los sensores de imagen CCD, y no indican ningún defecto de la cámara.

Borrosidad vertical

Puede aparecer una "borrosidad" que se extiende verticalmente desde los objetos muy brillantes, como se muestra a continuación.

Este fenómeno es común a los elementos de imagen CCD que utilizan un sistema de transferencia entre líneas, y se origina cuando la carga eléctrica inducida por la radiación infrarroja en el interior profundo del fotosensor se transfiere a los resistores.

Escalonamiento

Cuando se filman bandas finas, líneas rectas o patrones similares, las líneas pueden aparecer ligeramente escalonadas.

Manchas

Un sensor de imagen CCD consta de una matriz de elementos de imagen individuales (píxeles). Un elemento de sensor averiado se mostrará como una mancha de un solo píxel en la imagen. Generalmente, esto no representa un problema.

Puntos blancos

Cuando se filma un objeto poco iluminado a alta temperatura, pueden aparecer pequeños puntos blancos por toda la imagen de la pantalla.

Especificaciones

Sistema/red

CPU Procesador RISC de 32 bits

RAM 32 MB
incluida la memoria de imagen incorporada, de alrededor de 8 MB

Memoria Flash
8 MB

S.O. Compatible con µITRON 3.0

Protocolo TCP/IP, ARP, ICMP, HTTP, FTP (servidor/cliente), SMTP (cliente), DHCP (cliente), DNC (cliente), NTP (cliente) SNMP (MIB-2)

Tamaño de imagen
SNC-CS3N
736 × 480 (Auto), 736 × 480 (Cuadro), 736 × 480 (Campo), 640 × 480 (Auto), 640 × 480 (Cuadro), 640 × 480 (Campo), 320 × 240, 160 × 120
SNC-CS3P
736 × 544 (Auto), 736 × 544 (Cuadro), 736 × 544 (Campo), 640 × 480 (Auto), 640 × 480 (Cuadro), 640 × 480 (Campo), 320 × 240, 160 × 120

Formato de compresión
JPEG, compatibilidad básica

Calidad de imagen (tasa de compresión)
Aprox. 1/5 a 1/60 (10 pasos)
La tasa de compresión está basada en una imagen de 24 bits/ elemento de imagen (8 bits para R, V y A).

Velocidad de cuadros
SNC-CS3N
Máx. 30 FPS (640 × 480)
SNC-CS3P
Máx. 25 FPS (640 × 480)

Explorador Web
Internet Explorer Ver. 5.5 ó 6.0 (S.O. disponibles: Windows 98/ 98SE/ Me/ NT4.0/ 2000/ XP)
Pocket PC Internet Explorer (Sistema operativo disponible: Pocket PC 2002)

Entornos de ordenador
Windows
CPU: Pentium III 500 MHz o superior (se recomienda Pentium 4, 1 GHz o superior)
RAM: 128 MB o más
Tamaño de pantalla: 1024 × 768, Color verdadero o superior
Pocket PC
CPU: Strong ARM 206 MHz o superior, o CPU compatible
RAM: 64 MB o más
Complemento: Jeode[1)]Ver.1.9.1

Acceso máximo de usuarios
50 usuarios

Seguridad de red
Contraseña (autentificación básica), filtrado IP

Personalización de página de inicio
Lugares sometidos a fuertes vibraciones o sacudidas

Otras funciones
Detección de actividad, recorte de imagen, reloj incorporado, etc.

1) Jeode es una marca comercial registrada o marca comercial de Insignia Solutions,Inc. en los Estados Unidos y en otros países.

Camera

Dispositivo de imagen
SNC-CS3N
CCD de tipo 1/3 de transferencia entre líneas (Exwave HAD™), 380.000 elementos de imagen
SNC-CS3P
CCD de tipo 1/3 de transferencia entre líneas (Exwave HAD™), 440,000 elementos de imagen

Elementos de imagen efectivos
SNC-CS3N
768 (horizontal) × 494 (vertical)
SNC-CS3P
752 (horizontal) × 582 (vertical)

Montura del objetivo
Montura CS

Formato de señal
SNC-CS3N: NTSC
SNC-CS3P: PAL

Exploración **SNC-CS3N**
525 líneas, entrelazado 2:1
SNC-CS3P
625 líneas, entrelazado 2:1

Sincronización
Sincronización interna

Resolución horizontal
480 líneas de TV (vídeo analógico)

Relación entre señal y ruido
50 dB (AGC Normal, compensación activada) (vídeo analógico)

Iluminación mínima
0,24 lx (30 IRE, AGC Turbo, F1.0)
0,5 lx (50 IRE, AGC Turbo, F1.0)
2,4 lx (100 IRE, AGC Turbo, F1.0)

Conmutable entre AGC
Conmutable entre Normal (18 dB o menos)/Turbo (24 dB o menos)

Obturador electrónico
Conmutable entre Desactivado/ FL/Diafragma CCD (1/60 a 1/ 10.000)

Balance de blancos
Conmutable entre Auto/Interior 1/ Interior 2/Exterior/Una pulsación

Otras funciones
Función de detección de actividad

Objetivo (equipo estándar)

Objetivo Objetivo de distancia focal variable

Longitud focal
3,0 a 8,0 mm

número F F1.0 a F1.4

Ángulo de visión
Horizontal 91,0° a 35,9°
Vertical 66,6° a 26,9°

Distancia mínima al objeto
0,2 m

Interfaz

Puerto de red 10BASE-T/100BASE-TX (RJ-45)

Puerto I/O Entrada de sensor: por contacto
Salida de alarma 1 y 2: 24 VAC/ CC o menos, 1 A (salidas de relé mecánico aisladas eléctricamente de la cámara)

Interfaz serie
RS-232C de tipo transparente

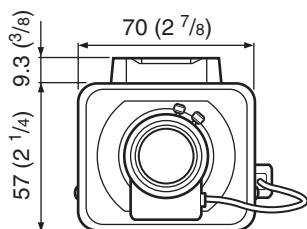
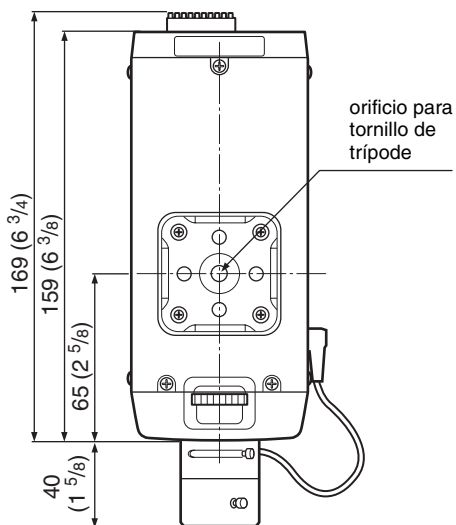
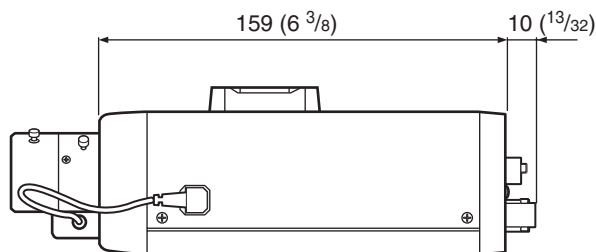
Conexión del objetivo al diafragma automático
Servo CC

Salida de vídeo
VIDEO OUT: BNC, 1,0 Vp-p, 75 ohmios, no equilibrada, sincronización negativa

Otros

Suministro de energía
24 V CA 50/60 Hz, 12 V CC
Consumo de energía
8 W máx.
Temperatura de funcionamiento
–10 °C a 50 °C (14 °F a 122 °F)
Temperatura de almacenamiento
–20 °C a 60 °C (–4 °F a 140 °F)
Humedad de funcionamiento
20 a 80 %
Humedad de almacenamiento
20 a 95 %
Dimensiones 70 × 57 × 159mm
(2 7/8 × 2 1/4 × 6 3/8 pulgadas)
sin incluir las partes salientes, objectivo y el adaptador de trípode
Masa Aprox. 650 g (1 lb 7oz)
Accesorios que se suministran
CD-ROM (programa de configuración y Guía del usuario) (1)
Cable (1)
Tornillo con pivote M4 (1)
Manual de instalación (este documento) (1)
Folleto de garantía B&P (1) (SNC-CS3N solamente)

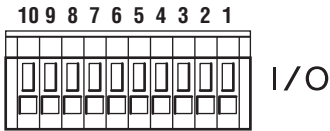
El diseño y las especificaciones están sujetos a modificaciones sin previo aviso.

Recambio regular de las partes
Algunas de las partes que componen este producto (el condensador electrolítico, por ejemplo) necesitan recambiarse con regularidad, dependiendo de sus vidas útiles.
Las vidas útiles de las partes varían según el entorno o las circunstancias en las que se emplee el producto y el periodo de tiempo que se utiliza, de modo que es recomendable hacer comprobaciones periódicas.
Consulte al distribuidor donde lo adquirió para obtener más detalles.

Dimensiones

Nota

Las ilustraciones anteriores muestran la SNC-CS3N. En la SNC-CS3P, el adaptador de trípode se monta en fábrica en la parte inferior de la cámara.

Asignación de pines y uso del puerto I/O

Asignación de pines del puerto I/O

Nº de pin	Nombre de pin
1	Entrada sensor 1 –
2	No conectado
3	Salida alarma 1 –
4	Salida alarma 1 +
5	Salida alarma 2 –
6	Salida alarma 2 +
7	GND
8	GND (RS-232C)
9	RXD (RS-232C)
10	TXD (RS-232C)

Usar el receptáculo I/O

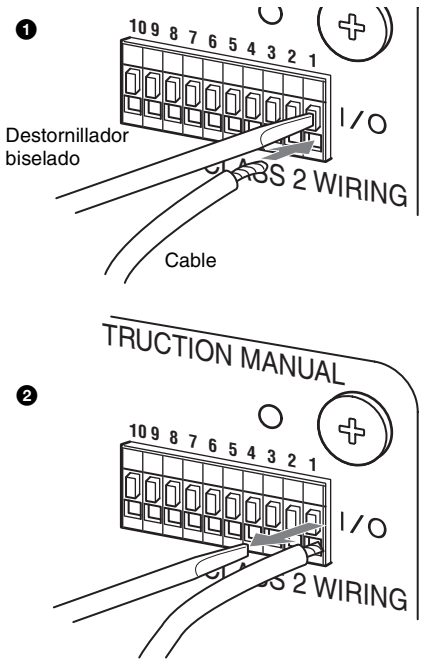
Mientras mantiene presionado el botón de la ranura en la que desea conectar el cable (AWG Nº 28 a 22), con un pequeño destornillador plano, inserte el cable en la ranura. A continuación, retire el destornillador del botón.

Repita este procedimiento para conectar todos los cables necesarios.

Diagrama de cableado para la entrada del sensor

Interruptor mecánico/dispositivo de salida de colector abierto

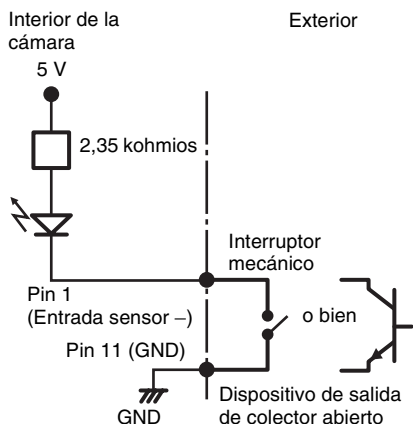
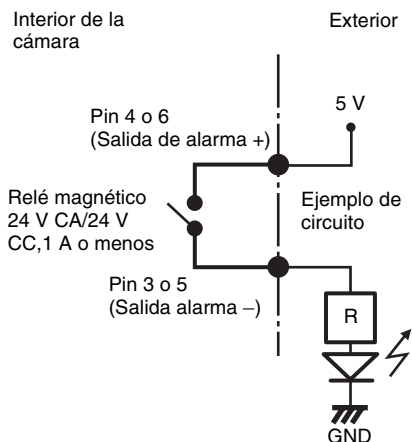
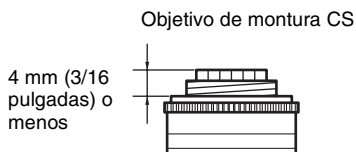



Diagrama de cableado para la salida de alarma

Montaje de un objetivo de montura CS

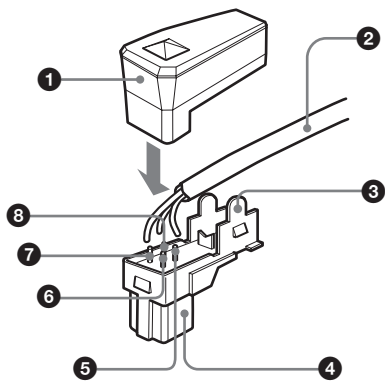
Es posible utilizar un objetivo de montura CS diferente al suministrado con esta cámara.

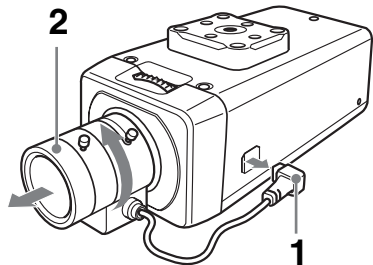
Objetivos adecuados

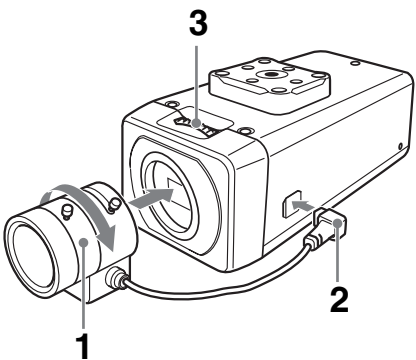
El objetivo debe ser de montura de tipo CS, de menos de 1 kg (2 lb 4 oz). La parte saliente tras la superficie de montaje debe ser de 4 mm (3/16 pulgadas) o menos.

Acerca del objetivo de diafragma automático

Con esta cámara es posible utilizar un objetivo de diafragma automático de tipo servo CC.
Para conectar el objetivo de diafragma automático, sustituya primero la clavija del cable del objetivo por una clavija que se ajuste a la conexión LENS (no suministrada).

1. Retire la clavija antigua del cable del objetivo.
2. Suelde los hilos del cable del objetivo a los pines de la clavija.

Para ver la asignación de pines, consulte el manual de instrucciones del objetivo.

❶	Tapa
❷	Cable del objetivo
❸	Costilla (si el cable es grueso, córtela.)
❹	Clavija (no se suministra)
❺	Pin 4: Movimiento – (Tierra)
❻	Pin 2: Control +
❼	Pin 1: Control –
❽	Pin 3: Movimiento +

Desmontaje del objetivo

Desconecte el cable del objetivo de la conexión LENS.
Gire el objetivo a la izquierda para separarlo de la cámara.

Montaje del objetivo

1 Alinee el objetivo con la montura de objetivo de la cámara y gírelo hacia la derecha hasta que quede sujeto.

2 Inserte la clavija del cable del objetivo en la conexión LENS.
Cuando monte un objetivo de diafragma manual, omita el paso 2.

3 Si el enfoque no se puede ajustar correctamente en ∞ (infinito), ajuste la longitud focal girando el anillo de ajuste de la longitud focal.